# 周産期学シンポジウム全演題一覧

## 【第 1 回】

会長：坂元正一
会期：昭和 58（1983）年 1 月 23 日（日）
会場：持田製薬ルークホール（東京）

■シンポジウムⅠ「胎児の機能的成熟―超未熟児の成育限界をめぐって」（座長：神保利春，柴田　隆）

●内分泌代謝機能
演者：桑原慶紀（東京大学産科婦人科学教室）

●内分泌代謝機能
演者：戸苅　創（名古屋市立大学小児科学教室）

●生理機能
演者：佐藤郁夫（自治医科大学産科婦人科学教室）

●胎児における心血管系の発達生理（Physiological Development of Cardiovascular System in Fetus）
演者：仁志田博司（北里大学小児科）

●［関連演題］妊娠Ratにおける含硫アミノ酸代謝に関する研究（特にTaurineの変動について）
演者：赤堀周一郎（岡山大学産科婦人科学教室）

●［関連演題］肝の成熟度の指標としての胎児・新生児の血液凝固学的検索
演者：鈴木重統（北海道大学医学部産科婦人科学／北海道大学医療技術短期大学部）

●［関連演題］胎児循環動態解析へのアプローチ
演者：千葉喜英（国立循環器病センター周産期治療科）

■シンポジウムⅡ「非免疫性胎児水腫」（座長：中野仁雄，小川雄之亮）

●非免疫性胎児水腫の発生機序ならびに治療に関する検討（Personal reviewを含めて）
演者：小柳孝司（九州大学婦人科学産科学教室）

●産科臨床と胎児水腫
演者：岡井　崇（東京大学産科婦人科学教室）

●非免疫性胎児水腫の新生児管理
演者：内藤達男（国立小児病院新生児科）

●非免疫性胎児水腫の病理
演者：中山雅弘（大阪府立母子保健総合医療センター病理）

●胎児水腫（Hydrops fetalis）について
演者：諸橋　侃（慶應義塾大学産婦人科学教室）

●non immune hydrops fetalisの5例を経験して
演者：高橋　裕（秋田大学産科婦人科学教室）

## 【第 2 回】

会長：坂元正一
会期：昭和 59（1984）年 1 月 21 日（土）
会場：プレスセンタービル（東京）

■シンポジウムⅠ「IN UTERO CHRONIC PREPARATION」（座長：水野正彦，武田佳彦）

●シバ山羊胎仔を用いたin utero chronic preparation法
演者：杉本充弘（東京大学産科婦人科学教室）

●われわれの施設におけるin utero chronic preparation実験の現況
演者：池ノ上　克（鹿児島市立病院 周産期医療センター）

●羊胎仔のchronic preparationの作成
演者：佐藤　章（東北大学産科学婦人科学教室）

●妊娠ヒツジにおけるin utero chronic preparationの作成と薬剤の経胎盤移行に関する研究
演者：藤本征一郎（北海道大学 産婦人科）

●［関連演題］"Chronic Sheep Preparation"について
演者：堀口隆彦（信州大学産科婦人科学教室）

●［関連演題］in utero chronic preparationによる胎仔循環の研究
演者：潮田悦男（奈良県立医科大学産婦人科学教室）

■シンポジウムⅡ「中枢神経系の先天奇形とその取り扱い」（座長：前田一雄，仁志田博司）

●中枢神経奇形の胎児病理と成因―頭部image診断例を中心に―
演者：高嶋幸男（鳥取大学脳研神経小児科）

●中枢神経系先天奇形の出生前診断とその取扱いについて
演者：竹内久彌（順天堂大学産婦人科）

●小児内科の立場から
演者：黒柳允男（コロニー中央病院新生児科）

●脳神経外科医の立場から
演者：高木卓爾（名古屋市立大学脳神経外科）

●［関連演題］胎児頭蓋内異常の超音波診断
演者：福本　悟（岡山大学産科婦人科学教室）

●［関連演題］中枢神経系の先天性形態異常を合併した5症例の診断，治療および予後に関して
演者：下川　浩（九州大学婦人科産科学）

●［関連演題］先天性高度水頭症の取り扱いに関する検討
演者：山口規容子（東京女子医科大学小児科）

●［関連演題］新生児期における二分脊椎の治療経験
演者：藤谷　健（大阪市立小児保健センター脳神経外科）

## 【第３回】

会長：前田一雄
会期：昭和60（1985）年1月19日（土）
会場：プレスセンタービル（東京）

■シンポジウムⅠ「胎児，新生児頭蓋内出血の成因」（座長：神保利春，多田　裕）

●胎児，新生児頭蓋内出血に対する血液凝固学的アプローチ―新生児期を中心に―
演者：白幡　聡（産業医科大学小児科学教室）

●新生児期における頭蓋内出血の血液凝固学的検討―胎児期に重きをおいて―
演者：鈴木重統（北海道大学医学部産科婦人科）

●極小未熟児脳室内出血の危険因子の検討
演者：竹内　豊（松戸市立病院新生児科）

●成熟児頭蓋内出血の成因についての検討
演者：川上　義（日本赤十字社医療センター新生児未熟児科）

●頭蓋内出血の成因に関する病理学的検索
演者：高嶋幸男（鳥取大学脳研神経小児科）

●［関連演題］胎児・未熟児・新生児の脳底動脈血流速度の変動について
演者：宇津正二（国立循環器病センター周産期治療科）

●［関連演題］脳室内出血と気胸の関連について
演者：玉井　普（淀川キリスト教病院小児科）

●［関連演題］極小未熟児の脳室内出欠の発症要因について
演者：近藤　乾（福岡市立こども病院新生児科）

■シンポジウムⅡ「胎児，新生児頭蓋内出血の診断」（座長：橋本武夫，竹内久彌）

●頭蓋内出血の臨床診断
演者：井村総一（日本大学小児科）

●産科的リスクファクターと頭蓋内出血
演者：堀口貞夫（愛育病院産婦人科）

●頭蓋内出血の頭部超音波診断
演者：大野　勉（埼玉県立小児医療センター未熟児新生児科）

●新生児頭蓋内出血と大泉門圧測定
演者：堀内　勁（聖マリアンナ医科大学小児科）

●［関連演題］安定同位元素$^{50}$Crを用いた新生児頭蓋内出血の時期の診断
演者：進　純郎（保原中央病院産婦人科）

●［関連演題］血腫の超音波像
演者：山口　祐（東北大学医学部産科学婦人科学教室）

●［関連演題］分娩時胎児頭部の超音波断層図の試み
演者：辰村正人（鳥取大学医学部産科婦人科学教室）

■特別講演

●The Status of Perinatology in Asia and Oceania

演者：S.Arulkumaran（University Department of Obstetrics and Gynaecology Kandang）

●Current Concepts of Immature Birth

演者：R.L. Tambyraja（Department of Obstetrics and Gynaecology National University of Singapore Kandang Kerbau Hospital）

## 【第 4 回】

会長：奥山和男

会期：昭和 61（1986）年 1 月 18 日（土）

会場：プレスセンタービル（東京）

■シンポジウムⅠ「羊水に関する基礎と臨床」（座長：小川雄之亮，桑原慶紀）

●【座長解説】羊水の産生循環動態

演者：桑原慶紀（東京大学医学部産婦人科）

●羊水中に存在する各種ホルモンの生理的意義

演者：武谷雄二（東京大学産婦人科）

●羊水中諸物質の動態と胎児発育

演者：工藤尚史（岡山大学医学部産科婦人科教室）

●羊水と肺胞液―特に羊胎仔へのnoradrenaline投与による肺胞液の流出量に及ぼす影響について―

演者：樋口誠一（秋田大学産科婦人科学教室）

●羊水と肺の発育―羊水過少と肺低形成―

演者：犬飼和久（聖隷浜松病院小児科）

●羊水量の異常と臨床

演者：原　量宏（香川医科大学母子科学教室）

●新生児からみた羊水過少症候群の臨床

演者：山南貞夫（都立豊島病院小児科）

●［関連演題］羊水過少症候群の新生児剖検例における肺の病理学的および生化学的検索

演者：中村康寛（久留米大学医学部第二病理）

■シンポジウムⅡ「妊娠中期における前期破水の管理」（座長：武田佳彦，竹内　徹）

●PROMの成因に関する生化学的アプローチ

演者：寺尾俊彦（浜松医科大学産婦人科）

●胎児・新生児合併症からみた前期破水の諸問題

演者：藤村正哲（大阪府立母子保健総合医療センター新生児科）

●前期破水の積極的管理法に関する研究

演者：荻田幸雄（大阪市立母子センター）

●感染と破水およびtocolysisの効果について

演者：千村哲朗（山形大学医学部産婦人科教室）

●新生児の予後からみた前期破水の感染予防対策，分娩時期の決定法

演者：岸本圭司（千葉市立海浜病院新生児科）

●［関連演題］PROMの原因としての腟内細菌の意義

演者：岩崎孝一（日本医科大学第2病院産婦人科）

●［関連演題］妊娠中期の前期破水の管理成績に対する一考察

演者：巽　英樹（北里大学医学部産婦人科学教室）

●［関連演題］PROMにおける分娩のタイミング―特に新生児呼吸障害発生予防の立場から―

演者：平野秀人（秋田大学医学部産婦人科）

●［関連演題］妊娠中期における前期破水の確定診断について

演者：藤本征一郎（北海道大学医学部産婦人科）

## 【第 5 回】

会長：新井正夫

会期：昭和 62（1987）年 1 月 17 日（土）

会場：神奈川県民ホール（神奈川）

■シンポジウムⅠ「先天性心疾患の診断と治療」（座長：新井正夫，柴田　隆）

●生後早期に緊急処置を要する先天性心疾患，不整脈の胎児診断

演者：広瀬　修（大阪府立母子保健総合医療センター小児循環器科）

●先天性心疾患の出生前診断および子宮内心機能評価について

演者：秦　利之（島根医科大学医学部産科婦人科学教室）

●先天性心疾患の胎内診断と先天性心疾患妊婦におけるF1への影響に関する疫学的調査
演者：千葉喜英（国立循環器病センター周産期治療科）
●胎児心疾患の出生前診断と胎内治療
演者：原　賢治（九州大学医学部婦人科学産科学教室）
●新生児期先天性心疾患の動脈管の薬物治療の基礎と臨床
演者：門間和夫（東京女子医科大学付属日本心臓血圧研究所小児科）
●［関連演題］胎児水腫（NIHF）例における超音波パルスドプラ法による循環動態の解析―胎児心不全を中心に―
演者：津崎恒明（公立八鹿病院産婦人科）
●［関連演題］直接胎児心電図誘導法
演者：是澤光彦（筑波大学臨床医学系産婦人科）
●［関連演題］胎児期より経過を追っている多源性心房性頻拍症の1症例
演者：木谷和夫（倉敷中央病院小児科）
●［関連演題］胎児心房粗動の胎内治療
演者：松永隆元（久留米大学医学部産婦人科）

■シンポジウムⅡ「妊娠30週未満の分娩方法をめぐる諸問題」（座長：佐藤郁夫，井村総一）
●妊娠30週未満における分娩様式の選択―児の予後との関連性について―
演者：今井史郎（大阪府立母子保健総合医療センター産科）
●妊娠30週未満の分娩の取り扱い―主に産科的対応を中心として―
演者：吉原　一（北里大学医学部産婦人科）
●児の予後からみた妊娠30週未満における分娩様式の選択
演者：多田　裕（東京都築地産院小児科）
●新生児の予後からみた30週未満児の分娩方式の検討
演者：増本　義（国立長崎中央病院小児科）
●［関連演題］妊娠30週未満早産例における分娩様式の検討
演者：萩沢正博（北海道大学医学部附属病院分娩部）
●［関連演題］妊娠30週未満の分娩法と予後―NMCS情報統計からの分析―
演者：船戸正久（淀川キリスト病院小児科）
●［関連演題］超未熟児骨盤位の外回転術を加味した分娩管理の試み
演者：石川　薫（名古屋第一赤十字病院産婦人科）

## 【第6回】

会長：竹内　徹
会期：昭和63（1988）年1月23日（土）
会場：国際交流センター（大阪）

■シンポジウムⅠ「胎児仮死および新生児仮死：病因と病態」（座長：佐藤　章，高嶋幸男）
●実験的ヒツジ胎仔仮死モデルにおけるFHRパターンの変化と脳糖代謝について
演者：岡村州博（東京大学医学部産婦人科）
●胎児仮死と胎児中枢神経機能
演者：上妻志郎（東京大学医学部産科婦人科学教室）
●生体防御機構および中枢神経系からみた胎児仮死の病態
演者：岸本廉夫（岡山大学医学部産婦人科学教室）
●近赤外光による新生児仮死の病態に関する研究
演者：戸苅　創（名古屋市立大学医学部小児科）
●［関連演題］乳酸およびフマール酸の尿中排泄量を指標とした新生児仮死の分類
演者：松尾雅文（神戸大学医学部小児科）
●［関連演題］胎児・新生児仮死と血小板
演者：鈴木重統（北海道大学医療技術短期大学部）
●新生児仮死に伴う頭蓋内病変について―特に脳室内出欠と低酸素性脳実質病変の形態学的検討―
演者：中村康寛（聖マリア病院病理部）

■シンポジウムⅡ「胎児仮死および新生児仮死：診断と治療」（座長：島田信宏，中村　肇）
●新生児仮死と頭部超音波断層検査―脳浮腫のタイプ分類の試み―
演者：玉井　普（淀川キリスト教病院小児科）
●新生児仮死後脳症（低酸素性虚血性脳症）に対するバルビタール大量投与の功罪
演者：宝樹真理（聖マリアンナ医科大学小児科）
●［関連演題］心エコー図，パルスドプラー法による仮死新生児の循環動態
演者：広瀬　修（大阪府立母子医療センター小児循環器科）

●［関連演題］新生児仮死における脳幹障害の電気生理学的検討
演者：安原昭博（関西医科大学小児科学教室）
●胎児Behaviorからみた胎児仮死の診断
演者：大草　尚（自治医科大学産科婦人科教室）
●心拍数データ圧縮トレンドグラムと胎動心拍数図による胎児仮死診断
演者：辰村正人（鳥取大学医学部産科婦人科）
●主として胎児心拍数図による胎児仮死の診断・管理の実際
演者：天野　完（北里大学医学部産婦人科／横須賀共済病院産婦人科）
●［関連演題］胎児仮死と胎児循環
演者：神崎　徹（国立循環器病センター周産期治療科）
●［関連演題］光工学的手法を用いた非侵襲的羊水診断―羊水混濁からみた胎児仮死の診断―
演者：住本和博（浜松医科大学産婦人科）
●［関連演題］分娩時胎児仮死発生の予知　low risk妊娠例を対象とした多項目の内分泌・生化学的胎児胎盤機能検査による胎児予後判定法の検討
演者：村田照夫（総合母子保健センター愛育病院産婦人科）

■プレコングレス特別講演
●Intrapartum Asphyxia as a Cause of Cerebral Palsy
演者：Alfred W. Brann, Jr

## 【第７回】

会長：武田佳彦
会期：平成元（1989）年１月21日（土）
会場：東京女子医科大学弥生記念講堂（東京）

■シンポジウムA「IUGR：病因と病態」（座長：望月眞人，千葉喜英）
●妊娠高血圧とIUGRに関する基礎的検討
演者：淵　勲（近畿大学産科婦人科学教室）
●胎盤生体膜機能よりみたIUGRの病因と病態
演者：飯岡秀晃（奈良県立医科大学産婦人科）
●［関連演題］Villitis of Unknown Etiology（VUE）の同胞例の検討―IUGRの再発について―
演者：若浜陽子（大阪府立母子保健総合医療センター）
●［関連演題］IUGRにおける胎盤終末絨毛の定量形態学的解析
演者：秋葉和敬（東京大学産婦人科）
●IUGRの成因別循環動態
演者：村上雅義（国立循環器病センター周産期治療科）
●［関連演題］IUGRにおける腎動脈血流波形の検討
演者：岩本好吉（鳥取大学産科婦人科学教室）
●［関連演題］IUGRにおける子宮・臍帯血流
演者：金岡　毅（福岡大学産婦人科学教室）
●IUGRと成長因子の動的相関
演者：上田康夫（神戸大学産科婦人科学教室）

■シンポジウムB「IUGR：管理と予後」（座長：荒木　勤，竹内　豊）
●IUGR胎内治療における母児間脂質，糖，アミノ酸代謝動態について
演者：大橋正伸（神戸大学産科婦人科学教室）
●［関連演題］IUGR胎児の肝グリコーゲン代謝異常に対する出生前治療へのアプローチ
演者：河村　堯（日本医科大学産婦人科学教室）
●［関連演題］早産IUGRの胎外適応能―HbF switchingおよび免疫機能獲得について―
演者：森山郁子（奈良県立医科大学産婦人科学教室）
●［関連演題］IUGR児における血液凝固線溶系の検討
演者：福田雅文（長崎大学小児科）
●当院出生IUGRの周産期異常と予後
演者：茨　聡（鹿児島市立病院周産期医療センター）
●SFDの重症度による新生児の適応と管理
演者：小口弘毅（北里大学小児科）
●IUGR児の予後
演者：山口規容子（東京女子医科大学母子総合医療センター）
●IUGR児の長期予後
演者：安永昌子（長崎大学産科婦人科学教室）

●極小未熟児SFDの予後
演者：渡辺とよ子（都立築地産院小児科）

## 【第8回】

会長：一條元彦
会期：平成2（1990）年1月20日（土）
会場：国際交流センター（大阪）

■シンポジウムA「ATL」（座長：一條元彦，植田浩司）

●人工栄養によるHTLV-Ⅰ母児感染予防
演者：土居　浩（長崎大学医学部小児科）

●HTLV-Ⅰキャリア妊婦とその取り扱い
演者：沖　利貴（鹿児島大学医学部産婦人科学教室）

●HTLV-Ⅰキャリア妊婦の管理ならびに母児感染予防について
演者：安藤良弥（奈良県立医科大学産婦人科）

●妊婦ATLA抗体スクリーニングにおける検査法の問題点
演者：前田　真（浜松医科大学産科婦人科学教室）

●［関連演題］高知方式によるATL母子感染防止事業の成績ならびに経験的問題点について
演者：久保隆彦（高知医科大学産科婦人科学教室）

●［関連演題］抗HTLV-Ⅰ抗体検査上の諸問題
演者：渡邊　徹（都立築地産院産婦人科）

●［関連演題］ATLA陽性妊婦に対する母児間感染防御と問題点
演者：川田　晃（都立豊島病院産婦人科）

■シンポジウムB「先天性横隔膜ヘルニア」（座長：小川雄之亮，橋都浩平）

●先天性横隔膜ヘルニアにみられる肺低形成の病理学的検討
演者：中村康寛（聖マリア病院病理部）

●先天性横隔膜ヘルニアと肺低形成
演者：加藤哲夫（秋田大学第一外科）

●薬物による先天性横隔膜ヘルニア動物モデルの作成とモデル実験下における肺低形成の意義
演者：中尾嘉孝（中尾BMSR研究所）

●胎児横隔膜ヘルニアの周産期管理
演者：鎌田振吉（大阪大学医学部小児科）

●先天性横隔膜ヘルニアの分類と管理法
演者：長屋昌宏（愛知県コロニー中央病院小児外科）

●先天性横隔膜ヘルニアの新しい治療方針―HFOを用いた積極的待機手術―病理学的および呼吸生理学的研究よりの検討
演者：田村正徳（東京大学医学部小児科）

●［関連演題］先天性横隔膜ヘルニアの待機手術の検討
演者：関　和男（日本赤十字社医療センター新生児未熟児科）

●［関連演題］臍帯ヘルニアを合併した横隔膜ヘルニア症例―横隔膜ヘルニアの肺低形成は臍帯ヘルニア形成で防ぐことが可能か？―
演者：水田祥代（九州大学医学部小児外科学教室）

## 【第9回】

会長：柴田　隆
会期：平成3（1990）年1月20日（日）
会場：順天堂大学有山記念会館講堂（東京）

■シンポジウムA「自己免疫疾患合併妊娠の基礎」（座長：柴田　隆，八神喜昭）

●膠原病疾患について―妊娠に関連した事項をふまえて―
演者：橋本博史（順天堂大学医学部膠原病内科）

●抗SS-A（RO）抗体と妊娠
演者：木戸口公一（大阪府立母子保健総合医療センター母性内科）

●抗リン脂質抗体と妊娠
演者：青木耕治（名古屋市立大学医学部産科婦人科学教室）

●［関連演題］Lupus anticoagulantと妊娠
演者：安達知子（東京女子医科大学産婦人科）

●自己抗体の胎盤通過と児の免疫能
演者：齋藤　滋（奈良県医科大学産婦人科）

●自己免疫疾患合併妊婦の胎盤病理所見
演者：中山雅弘（大阪府立母子保健総合医療センター検査部病理室）

■シンポジウムB「自己免疫疾患合併妊娠における母児管理」（座長：谷澤　修，藤村正哲）

●自己免疫疾患合併妊娠新生児の実態調査

演者：上田　隆（阿南共栄病院小児科）

●自己免疫疾患合併妊娠における児の転帰に関する検討―当院の最近15年間の成績について―

演者：三村俊二（名古屋大学医学部小児科学教室）

●自己免疫疾患合併妊娠の母児管理―SLE合併妊娠の児の予後規定因子―

演者：吉田幸洋（順天堂大学医学部産婦人科学教室）

●［関連演題］自己免疫疾患を合併する母体から生まれた先天性房室ブロックの5症例

演者：土谷之紀（大阪府立母子保健総合医療センター小児循環器科）

●［関連演題］新生児エリテマトーデスの3同胞例

演者：進　純郎（日本医科大学産婦人科）

●ITP合併妊娠における母児管理

演者：牧野田　知（北海道大学医学部産婦人科）

●［関連演題］特発性血小板減少性紫斑病（ITP）合併妊娠ならびに正常妊娠における母体血および臍帯血中の血小板数と血小板正面IgG（PA-IgG）値との関係

演者：川鰭市郎（岐阜大学医学部産婦人科）

●［関連演題］ITP合併妊婦における妊娠・分娩管理

演者：小林隆夫（浜松医科大学産婦人科）

●［関連演題］ITP合併妊婦管理における経皮的臍帯血採取の有用性

演者：髙木健次郎（日本大学医学部産婦人科）

## 【第10回】胎外生命維持のバイオロジー

会長：神保利春

会期：平成4（1992）年1月18日（土）

会場：きゅりあん（東京）

■シンポジウムA「基礎編：生育限界と児の発達生理」（座長：桑原慶紀，小川雄之亮）

●胎生後半からの神経発達と適応

演者：島田司巳（滋賀医科大学小児科）

●ストレスに対する適応性の成熟 低体温ストレスに対する反応

演者：海野信也（東京大学医学部産科婦人科学教室）

●羊未熟胎仔の低酸素ストレスに対する反応

演者：松田義雄（鹿児島市立病院産婦人科）

●［関連演題］低酸素ストレスに対する内分泌学的適応

演者：遠藤　力（福島県立医科大学産婦人科）

●栄養代謝の発達と適応

演者：江口勝人（岡山大学医学部産科婦人科学教室）

●酸素代謝の適応発達

演者：大西鐘壽（香川医科大学小児科）

■シンポジウムB「臨床編：超未熟性と生育限界」（座長：仁志田博司，佐藤　章）

●胎外生命維持と中枢神経系 超未熟児の頭蓋内出血は防止できるか

演者：堀内　勁（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院周産期センター）

●胎外生命維持と循環器系 出生後の変化に適応できる心機能とは

演者：中沢　誠（東京女子医科大学附属日本心臓血圧研究所循環器小児科）

●胎外生命維持と呼吸器系 出生後成育可能な発育と成熟とは

演者：小西峯生（岩手医科大学小児科学教室）

●胎外生命維持と皮膚 皮膚の成熟は成育限界を規定するか

演者：戸苅　創（名古屋市立大学医学部小児科）

●胎外生命維持機能の出生前評価 臓器別声明維持機能は胎内で評価できるか

演者：神崎　徹（国立循環器病センター周産期科）

## 【第11回】多胎をめぐる諸問題

会長：小川雄之亮

会期：平成5（1993）年1月23日（土）

会場：西武本川越ペペ（埼玉）

■シンポジウムA「多胎の諸問題」（座長：池ノ上　克，藤村正哲）

●双胎の周産期罹病における特異性

演者：今井史郎（愛染橋病院産婦人科）

●多胎妊娠症例に対する予防的Shirodkar氏頸管縫縮術の有効性に関する検討
演者：関　博之（埼玉医科大学総合医療センター産婦人科）
●双胎分娩した母親の育児状況とそれをとりまく諸問題
演者：又吉國雄（東京医科大学霞ヶ浦病院産婦人科）
●［関連演題］不妊内分泌治療の発展 一般化が多胎妊娠に及ぼすインパクトについて
演者：大谷嘉明（聖隷浜松病院産婦人科）
●［関連演題］多胎妊娠例の卵性診断
演者：菅原照夫（北海道大学医学部産婦人科学教室）
●在胎32週以下の双胎未熟児の周産期管理の問題点
演者：小口弘毅（北里大学医学部小児科）
●多胎におけるPVLの発症
演者：三科　潤（都立築地産院小児科）

■シンポジウムB「双胎間輸血症候群」（座長：岡井　崇，中村　肇）
●双胎間輸血症候群についての新生児科的考察
演者：川本　豊（大阪府立母子保健総合医療センター新生児科）
●多胎の病態生理 特に双胎胎盤の観察から
演者：吉田啓治（東京医科大学産婦人科）
●双胎間輸血症候群の予後とその出生前診断について
演者：岡根真人（茨城県周産期センター）
●双胎1児死亡例の統計学的検討とその取り扱い方
演者：進　純郎（日本医科大学産婦人科）
●［関連演題］双胎妊娠における胎児胎盤循環動態の検討
演者：石松順嗣（久留米大学医学部産婦人科学教室）
●［関連演題］多胎妊娠の管理における胎児採血の意義
演者：室月　淳（東北大学医学部産科婦人科学教室）

## 【第12回】胎児治療―その適応と限界

会長：中野仁雄
会期：平成6（1994）年1月21日（金），22日（土）
会場：パピヨン24ガスホール（福岡）

■シンポジウムA「胎児治療の背景」（座長：佐藤　章，土田嘉昭）
●先天性横隔膜ヘルニアの胎内治療に関する実験的検討
演者：加藤哲夫（秋田大学医学部第1外科）
●腎尿路奇形に対する胎児治療と病理学的背景
演者：島田憲次（大阪府立母子保健総合医療センター泌尿器科）
●遺伝性疾患に対する胎児造血幹細胞移植の実験的検討
演者：谷川原真吾（東北大学医学部産婦人科）
●脳神経外科系について
演者：森本一良（大阪府立母子保健総合医療センター脳神経外科）
●［関連演題］胎児の血液・生化学的正常値と胎児治療の適応
演者：小菅周一（東北大学医学部産科婦人科学教室）

■シンポジウムB「胎児治療の臨床」（座長：千葉喜英，戸苅　創）
●非免疫性胎児水腫の診断と胎児治療―適応と限界
演者：前田博敬（九州大学医療技術短期大学部）
●胎児治療対象疾患群とその管理
演者：小林秀樹（国立循環器病センター周産期治療科）
●amnioinfusion―適応と限界
演者：天野　完（北里大学医学部産婦人科）
●世界の胎児治療成績
演者：是澤光彦（神奈川県立こども医療センター周産期医療部）
●［関連演題］無心体に対する胎内治療 特にcellulose acetate polymer（CAP）による臍帯血流遮断術について
演者：平松祐司（岡山大学医学部産科婦人科学教室）

■招聘講演
●Current Management of Fetuses as Patients
演者：N. Scott Adzick（Department of Surgery, Univarsity of California）

## 【第 13 回】中枢神経系の発達障害からみた周産期医療

会長：多田　裕
会期：平成 7（1995）年 1 月 21 日（土）
会場：津田ホール（東京）

**■シンポジウム A「周産期と発達障害」（座長：仁志田博司，佐藤郁夫）**

**●脳性麻痺の発生要因**
演者：上谷良行（神戸大学医学部小児科）

**●超低出生体重児の学齢期の予後と周生期要因**
演者：藤村正哲（大阪府立母子保健総合医療センター新生児科）

**●正期産仮死児の予後と周産期要因**
演者：中林正雄（東京女子医科大学母子総合医療センター）

**●胎児行動の前方視的研究**
演者：小柳孝司（九州大学医学部附属病院周産母子センター）

**●［関連演題］新生児における内頸動脈と中大脳動脈の血流速度比と脳波との相関および児の神経学的予後との関係**
演者：福田純男（愛知県心身障害者コロニー中央病院新生児科）

**●［関連演題］新生児期の誘発電位所見と児の神経学的予後**
演者：高田　哲（神戸大学小児科）

**■シンポジウム B「脳白質軟化と周産期の要因」（座長：西島正博，竹内　豊）**

**●胎児・新生児の脳発達と白質軟化**
演者：出口貴美子（国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第２部）

**●極小未熟児の虚血性脳障害―多施設共同前方視的研究―**
演者：藤本伸治（名古屋市立大学医学部小児科）

**●出生早期脳波所見から推定した出生前受傷PVL児の危険因子**
演者：板倉敦夫（名古屋大学医学部産婦人科）

**●早産児における胎児期発症PVLの臨床的背景**
演者：伊藤隆志（鳥取大学医学部産科婦人科）

**●嚢胞形成性脳室周囲白質軟化症の出生後発症危険因子**
演者：門井伸暁（北里大学医学部小児科）

## 【第 14 回】周産期の Pharmacology

会長：桑原慶紀
会期：平成 8（1989）年 1 月 20 日（土），21 日（日）
会場：如水会館（東京），順天堂大学有山記念会館講堂（東京）

**■特別企画 / パネルディスカッション 災害と周産期医療**

**●震災被害の状況と現地からみた危機管理のあり方 新生児医療**
演者：常石秀市（神戸大学医学部小児科）

**●震災被害の状況と現地からみた危機管理のあり方 産科医療**
演者：大橋正伸（兵庫県立こども病院周産期医療センター産科）

**●震災被害の状況と現地からみた危機管理のあり方 施設と設備**
演者：松本啓俊（東北工業大学）

**●援助体制，情報ネットワーク，搬送**
演者：楠田　聡（大阪市立総合医療センター新生児科）

**■シンポジウム A「発達薬理学：胎児・未熟児の薬剤動態の特徴」（座長：戸苅　創，池ノ上　克）**

**●幼若ラットにおけるドパミンの血液脳関門通過性に関する基礎的研究**
演者：宮口英樹（名古屋市立大学医学部小児科）

**●未熟児におけるインドメタシンの薬物動態の検討**
演者：佐藤雅彦（北里大学医学部産科小児科）

**●新生児離脱症候群の管理と薬物代謝―抗痙攣剤と向精神薬―**
演者：磯部健一（香川医科大学母子センター新生児部）

**●腎臓での薬物輸送，処理機構の発達**
演者：小松康宏（千葉県こども病院腎臓科）

**●胎児・未熟児における強心薬の心血管系への影響**
演者：中西敏雄（東京女子医科大学循環器小児科）

**●母体の薬物投与と胎児・胎盤所見**
演者：中山雅弘（大阪府立母子保健総合センター検査科）

■シンポジウムB「早産・PROMの治療に関する薬剤」（座長：池ノ上　克，戸苅　創）

●前期破水症例における抗生物質投与と薬物動態の検討
演者：今中基晴（大阪市立大学医学部産科婦人科）

●塩酸リトドリンをモデルとした妊娠中の薬物作用と適応現象
演者：瓦林達比古（福岡大学医学部産婦人科）

●塩酸リトドリン投与時の子宮臍帯循環
演者：根本荘一（東京逓信病院産婦人科）

●DHASが妊娠満期の母児循環動態に及ぼす影響
演者：秦　利之（島根医科大学医学部産科婦人科）

●硫酸マグネシウムと胎児低酸素血症
演者：鮫島　浩（宮崎医科大学産婦人科）

●副腎皮質ステロイド剤の胎児に対する作用
演者：吉田幸洋（順天堂大学医学部産婦人科）

●インドメタシンの胎児・新生児への影響 母体投与と新生児期投与
演者：堀内　勁（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院周産期センター）

## 【第15回】胎児循環と新生児循環―新生児遷延性肺高血圧症をめぐる諸問題

会長：西島正博
会期：平成9（1997）年1月24日（金），25日（土）
会場：パシフィコ横浜（神奈川）

■シンポジウムA「原因・病態」（座長：戸苅　創，岡井　崇）

●Review：新生児遷延性肺高血圧症（PPHN）の定義と理念
演者：戸苅　創

●新生児遷延性肺高血圧症の母体背景と新生児管理
演者：光田信明（大阪府立母子保健総合医療センター産科）

●新生児遷延性肺高血圧症（PPHN）の新生児学的検討
演者：川本　豊（大阪府立母子保健総合医療センター新生児科）

●［関連演題］長期羊水流出に伴う未熟児肺低形成における新生児遷延性肺高血圧
演者：小口弘毅（北里大学医学部小児科）

●新生児遷延性肺高血圧症 基礎実験から臨床への敷衍
演者：門間和夫（東京女子医科大学循環器小児科）

●新生児遷延性肺高血圧症に関連した羊胎仔肺組織における子宮内長期低酸素ストレスの影響
演者：室月　淳（東北大学医学部産婦人科）

●Birth simulation modelによる肺動脈血流量の変化
演者：吉原　一（北里大学医学部産婦人科）

●胎児期より新生児期の肺血管抵抗の推移
演者：大道正英（大阪大学医学部附属病院産婦人科）

■シンポジウムB「治療」（座長：戸苅　創，岡井　崇）

●出生後の呼吸・循環適応と新生児遷延性肺高血圧症 実験的PPHNモデルの病態生理とその治療
演者：鈴木　悟（名古屋市立城北病院小児科）

●新生児遷延性肺高血圧症に対するECMOの効果
演者：茨　聡（鹿児島市立病院周産期医療センター）

●PPHN（新生児遷延性肺高血圧症）に対する治療法の選択
演者：楠田　聡（大阪市立総合医療センター新生児科）

●新生児遷延性肺高血圧症（PPHN）の治療法と予後に関する検討
演者：立石　格（国立小児病院新生児科）

●新生児遷延性肺高血圧症（PPHN）に対する一酸化窒素（NO）吸入療法の臨床応用
演者：河合伸二（兵庫県立こども病院周産期医療センター新生児科）

■特別講演

●Fetal-Maternal Communication During Pregnancy and the Initiation of Labor
演者：Charles A Ducsay（Center for Perinatal Biology Departments of Physiology and Pediatrics School of Medicine Loma Linda University）

## 【第 16 回】周産期の炎症とその周辺

会長：中村　肇
会期：平成 10（1998）年 1 月 23 日（金），24 日（土）
会場：神戸ハーバーランドニューオータニ，神戸新聞社 松方ホール（神戸）

**■シンポジウム A「周産期の細胞障害」（座長：豊田長康）**

**●虚血再灌流障害と好中球**
演者：西田　朗（都立八王子小児病院小児科）

**●虚血・再灌流による子宮内胎児発育遅延モデルにおけるフリーラジカルの役割**
演者：田中　守（慶應義塾大学医学部産婦人科学教室）

**●中枢神経系と一酸化窒素**
演者：村松幹司（名古屋市立大学医学部小児科）

**●［関連演題］反復低酸素虚血負荷による脳障害発生と一酸化窒素**
演者：長田直樹（鳥取大学医学部産科婦人科）

**●臍帯圧迫による胎児中枢神経細胞障害①病態生理学的検討**
演者：丸茂元三（東京大学医学部産婦人科）

**●臍帯圧迫における胎児神経細胞障害②病理組織学的検討**
演者：大湯淳功（国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第二部）

**●［関連演題］ヒツジ胎仔における急性脱血性低血圧による脳室周囲白質軟化（PVL）の誘起**
演者：奥山和彦（北海道大学医学部産婦人科）

**●［関連演題］子宮外ヤギ胎仔保育システムを用いた胎仔脳虚血・再灌流による脳室周囲白質軟化症（PVL）の発生に関する研究**
演者：湯原千治（順天堂大学医学部産婦人科）

**●Superantigen と新生児感染症**
演者：高橋尚人（東京女子医科大学母子総合医療センター）

**●［関連演題］未熟児・新生児における好中球減少性細菌感染症の病態生理および治療法の検討**
演者：山田俊彦（北里大学医学部小児科）

**■シンポジウム B「子宮内感染と早産」（座長：佐川典正，小口弘毅）**

**●［座長解説］サイトカインを介した母児の病態**
演者：佐川典正（京都大学産婦人科）

**●分娩発来とサイトカイン**
演者：金山尚裕（浜松医科大学産婦人科）

**●ヒアルロン酸からみた子宮頸部の熟化機構―子宮頸部熟化現象は炎症反応に酷似している―**
演者：平野秀人（秋田大学医学部産婦人科）

**●子宮内感染の予知**
演者：谷　昭博（北里大学医学部産婦人科）

**●［関連演題］子宮内感染におけるラクトフェリンの感染防御機構について**
演者：齋藤　裕（昭和大学医学部産婦人科）

**●新生児感染症におけるサイトカインの変動と免疫グロブリン産生の関連**
演者：嶋田優美（日本大学医学部小児科）

**●組織学的絨毛膜羊膜炎と早産児の慢性肺疾患**
演者：北島博之（大阪府立母子保健総合医療センター新生児科）

**●［関連演題］壊死性臍帯炎と早産児の慢性肺疾患**
演者：松田　直（北海道大学医学部産婦人科）

**■特別講演**

**●Visualizing Infection and Gene Expression in Living Animals**
演者：Christopher H. Contag（Division of Neonatal and Developmental Medicine, Department of Pediatrics, Stanford University School of Medicine）

## 【第 17 回】妊娠中期の胎児評価・管理および新生児予後

会長：佐藤郁夫
会期：平成 11（1999）年 1 月 22 日（金），23 日（土）
会場：サンケイ会館（東京）

**■シンポジウム第 1 部（座長：三科　潤，名取道也）**

**●超低出生体重児 3 歳時および 6 歳時予後の全国集計結果**
演者：上谷良行（神戸大学医学部小児科）

**●新生児予後からみた周産期因子**
演者：藤村正哲（大阪府立母子保健総合医療センター新生児科）

●妊娠中期に出生した新生児の予後決定因子の検討
演者：小菅周一（自治医科大学総合周産期母子医療センター）
●［関連演題］妊娠中期のNSTによるperinatal outcomeの予測に関する検討
演者：柳原敏宏（香川医科大学母子科）
●［関連演題］妊娠中期胎児心拍ゆらぎの周波数成分の仮死による構造変化
演者：木村芳孝（東北大学医学部産科婦人科学教室）

■シンポジウム第2部（座長：中村　肇，千葉喜英）
●臍帯動脈血液ガス所見よりみた妊娠中期における分娩前管理の評価
演者：松田義雄（鹿児島市立病院産婦人科）
●IUGR児における胎児血pHおよび予後予測のための，多変量logistic解析による出生前超音波パラメータ評価
演者：宮下　進（国立循環器病センター周産期科）
●頭部発育からみたIUGRの周産期と予後
演者：三石知左子（東京女子医科大学母子総合医療センター）
●妊娠中期preterm PROMに対する待機療法と積極的分娩における新生児予後についての検討
演者：村越　毅（聖隷浜松病院総合周産期母子センター産科）

■ワークショップ（座長：多田　裕，木下勝之）
●臍帯動脈血液ガス所見よりみた妊娠中期における分娩前管理の評価
話題提供者：小田清一，徳永昭輝，梶原眞人，是澤光彦，金子義晴，池ノ上　克，竹田　省，松原茂樹

## 【第18回】胎児・新生児の予後に影響を及ぼすウイルス感染

会長：仁志田博司
会期：平成12（2000）年1月22日（土），23日（日）
会場：東京女子医科大学弥生記念講堂（東京）

■シンポジウム第1部（座長：千葉峻三，川名　尚）
●トキソプラズマの母子感染の診断・予防に関する研究
演者：小島俊行（東京大学医学部附属病院分院 産科婦人科）
●ハイリスク妊娠・新生児におけるサイトメガロウイルス感染の検討
演者：丸山有子（鹿児島市立病院周産期医療センター）
●［関連演題］サイトメガロウイルス母子感染に対する妊婦スクリーニングの有用性
演者：山下美和（浜松医科大学産婦人科）
●［関連演題］サイトメガロウイルス（CMV）胎内感染症発症の予知と予防
演者：北中孝司（奈良県立医科大学産科婦人科）
●［関連演題］無症候性の先天性サイトメガロウイルス感染症を合併した超低出生体重児の1例
演者：西久保敏也（県立奈良病院周産期医療センターNICU）
●胎盤から見たウイルス/トキソプラズマによる胎内感染症の臨床病理学的検討
演者：竹中　真（大阪府立母子保健総合医療センター検査科病理）

■シンポジウム第2部（座長：鈴森　薫，小泉武宣）
●3,000人の妊婦血清が語るヒトパルボウイルスB19感染の実態 感染の特徴と母子感染予防の可能性
演者：成瀬寛夫（聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター産科）
●パルボウイルスB19母子感染による胎児障害機構の動物実験モデルを用いた検討
演者：千坂　泰（東北大学医学部産科婦人科学教室）
●風疹ウイルスの母子感染 風疹疑い妊婦の取扱い
演者：種村光代（名古屋市立大学医学部産科婦人科学教室）
●新生児ヘルペス母子感染の診断と治療
演者：二村真秀（愛知県心身障害者コロニー中央病院新生児科）
●母児垂直感染に続発したウイルス関連性血球貪食症候群（VAHS）
演者：田中太平（名古屋市立大学医学部小児科）

■プレコングレスパネルディスカッション「周産期医療における生命倫理的配慮―その実際的対応はいかにあるべきか―」
（座長：仁志田博司，佐藤　章）
●産婦人科の立場から
演者：鈴森　薫
●新生児科の立場から
演者：加部一彦
●生命倫理の立場から
演者：森川　功
●患者の立場から
演者：玉井真理子

●法的な観点から
演者：鈴木利廣

## 【第 19 回】予後不良因子を有する胎児・新生児への医学的対応

会長：佐藤　章
会期：平成 13（2001）年 1 月 19 日（金），20 日（土）
会場：サンケイプラザ（東京）

■シンポジウム午前の部（座長：堀内　勁，中林正雄）
●在胎 25 週未満児の累積生存率と予後因子の検討
演者：細野茂春（埼玉県立小児医療センター未熟児新生児科）
●［関連演題］臍帯動脈拡張期血流に途絶・逆流を認めた重症子宮内発育遅延児の検討
演者：藤森敬也（福島県立医科大学医学部産婦人科学教室）
●Second trimesterに発症した長期破水症例においての肺低形成の予測
演者：中田高公（岡山大学医学部産科婦人科学教室）
●［関連演題］肺低形成の予測のための胎児肺血流波形計測の応用
演者：福家信二（りんくう総合医療センター市立泉佐野病院産婦人科）
●重症仮死児の治療法の進歩
演者：茨　聡（鹿児島市立病院周産期医療センター）
●当院における医学的介入と緩和的医療
演者：和田　浩（淀川キリスト教病院小児科）

■シンポジウム午後の部（座長：田村正徳，池ノ上　克）
●重症先天性心疾患新生児の治療成績の検討―当科における経験（1990 ～ 1999 年）―
演者：渡辺　健（国立循環器病センター小児科）
●［関連演題］出生前診断を受けた重症先天性心疾患の生命予後に関する検討
演者：稲村　昇（大阪府母子保健総合医療センター小児循環器科）
●胎児・新生児期水頭症の予後不良因子についての臨床的検討
演者：下川尚子（聖マリア病院脳神経外科）
●MD 双胎一児子宮内死亡の予後不良因子とその対応に関する研究
演者：末原則幸（大阪府立母子保健総合医療センター産科）
●［関連演題］双胎一児子宮内胎児死亡症例の周産期管理
演者：山中美智子（神奈川県立こども医療センター周産期医療部産科）

■プレコングレス（座長：藤村正哲）
●胎児仮死の用語を巡って
演者：村田雄二（大阪大学医学部産婦人科）

## 【第 20 回】不妊治療と周産期医療

会長：藤村正哲
会期：平成 14（2002）年 1 月 18 日（金），19 日（土）
会場：大阪国際会議場（大阪）

■市民公開講座 プレコングレス（座長：中村正雄）
●不妊治療の光と影 The light and shadow of infertility treatment
演者：Elizabeth Bryan（Queen Charlotte's and Chelsea Hospital）

■シンポジウム午前の部（座長：吉村泰典，楠田　聡）
●Review：不妊治療とくに生殖医療の現状と問題点
演者：星　和彦（山梨医科大学産婦人科）
●Review：男性不妊
演者：並木幹夫（金沢大学医学部泌尿器科）
●不妊治療後妊娠の臨床経過よりみた不妊治療のあり方
演者：友田昭二（大阪市立住吉市民病院産婦人科）
●不妊症患者における糖尿病スクリーニングと妊娠経過・予後
演者：肥後貴史（宮崎医科大学産婦人科）
●多胎の減少，早産の予防，NICU ベッドの有効利用をめざして～不妊センターと周産期センターの連携～
演者：渋谷伸一（聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター産科）

■シンポジウム午後の部（座長：末原則幸，加部一彦）
●品胎以上の多胎が地域周産期医療システムに及ぼす影響とその対策
演者：水谷隆洋（大阪府立母子保健総合医療センター産科）

●**不妊治療による妊娠が周産期医療・NICUに及ぼす影響**
演者：丸山英樹（鹿児島市立病院周産期医療センター）
●**不妊治療と育児**
演者：横山美江（京都大学医療技術短期大学部）
●**［関連演題］体外受精児の発育調査**
演者：片山恵利子（荻窪病院産婦人科）

## 【第 21 回】21 世紀の周産期システム：問題点と展望

会長：中林正雄
会期：平成 15（2003）年 1 月 17 日（金），18 日（土）
会場：東京プリンスホテル（東京）

■**市民公開講座 プレコングレス（座長：多田　裕）**
●**日米における周産期の医療経済**
演者：石原　謙（日医総研）

■**シンポジウム午前の部（座長：岡村州博，西田　朗）**
●**産婦人科診療相互援助システム（OGCS）の現状と今後の課題**
演者：末原則幸（大阪府立母子保健総合医療センター）
●**大阪における新生児搬送の現況**
演者：金　太章［大阪市立総合医療センター新生児科/NMCS（大阪新生児診療相互援助システム）］
●**絨毛膜羊膜炎対策からみた病診連携と早産予防戦略**
演者：大谷嘉明（おおたにレディースクリニック）
●**国立病院・療養所における周産期医療システムの全国調査**
演者：久保隆彦（国立成育医療センター周産期診療部産科）
●**こども病院型総合周産期母子医療センターの現状と問題点**
演者：海野信也（長野県周産期医療協議会/長野県立こども病院総合周産期母子医療センター産科）
●**鹿児島県における周産期医療システムの変化とその効果**
演者：茨　聡（鹿児島市立病院周産期医療センター）
●**「周産期症例検討会」と人的ネットワークの重要性**
演者：池田智明（宮崎県周産期症例検討会）

■**シンポジウム午後の部（座長：堺　武男，原　量宏）**
●**周産期診療における電子カルテの導入**
演者：久野　敦（坂出市立病院産婦人科）
●**香川周産期情報ネットワークシステム構築およびその運用**
演者：秋山正史（香川医科大学周産期学婦人科学講座）
●**新生児集中治療室（NICU）・産科診療における電子カルテの利用状況と今後の課題**
演者：加藤文英（島根県立中央病院小児科）
●**新生児重症度スコアを用いた新生児集中治療の評価**
演者：大木康史［群馬大学小児科（周産母子センター NICU）］
●**Supertwin症例からみた新生児医療地域化**
演者：臼倉幸宏（静岡県立こども病院新生児科）
●**東京都周産期医療対策事業に基づく東京都の周産期医療体制の実態と問題**
演者：土屋清志（杏林大学産科婦人科教室）
●**母子保健行政からみた周産期医療システム**
演者：谷口　隆（厚生労働省母子保健課）

## 【第 22 回】母児の予後からみた娩出のタイミング

会長：戸苅　創
会期：平成 16（2004）年 1 月 23 日（金），24 日（土）
会場：全日空ホテルグランコート名古屋（愛知）

■**プレコングレス（座長：戸苅　創）**
●**Cerebral circulation at birth in term and preterm infants**
演者：Adrian M Walker

■**シンポジウム午前の部（座長：齋藤　滋，岡村州博）**
●**新生児予後からみた妊娠32週未満のpreterm PROM症例の管理についての検討**
演者：酒井正利（富山医科薬科大学周産母子センター）
●**在胎34週未満のpreterm PROMおよび切迫早産症例における娩出のタイミング**
演者：中田高公（川崎医科大学産婦人科学教室）

●絨毛膜羊膜炎における娩出のタイミング
演者：平野秀人（秋田大学医学部生殖発達医学講座産婦人科分野）
●［関連演題］慢性肺疾患（CLD）発症からみた子宮内炎症合併早産の娩出のタイミング
演者：松田　直（東北大学病院 周産母子センター）
●PVL発症からみた，児娩出のタイミング
演者：加藤英二（船橋中央病院周産期母子医療センター）
●脳室周囲白質軟化症発症例における後大脳動脈の血流動態
演者：福田純男（名古屋市立大学大学院医学研究科先天異常新生児小児医学分野）

■シンポジウム午後の部（座長：茨　聡，岡井　崇）
●一絨毛膜二羊膜性双胎（MD twin）の娩出時期のタイミング MD-Twin Scoreの有用性に関する前方視的研究
演者：金子政時（宮崎大学医学部附属病院周産母子センター産婦人科）
●一絨毛膜性双胎における胎児心機能よりみた分娩のタイミング
演者：市塚清健（昭和大学産婦人科学教室）
●児の予後からみた双胎間輸血症候群の娩出のタイミング
演者：加地　剛（大阪府母子保健総合医療センター産科）
●Pretermの“胎児ジストレス”診断と対応
演者：望月純子（北里大学医学部産婦人科）
●妊娠32週未満のIUGR児における胎児アシドーシス評価
―胎児心拍陣痛図，超音波所見，胎児血pHの関係および妊娠週数による信頼性についての検討―
演者：宮下　進（旭中央病院周産期医療センター新生児科）
●頭囲発育停止を指標にしたIUGR娩出のタイミング
演者：丸山有子（鹿児島市立病院周産期医療センター）

## 【第23回】生活，環境，薬剤などの母児に及ぼす影響

会長：名取道也
会期：平成17（2005）年1月21日（金），22日（土）
会場：シェーンバッハ・サボー（東京）

■プレコングレス
●周産期脳内の人工化学物質を原因とするLD，ADHD，高機能自閉症など脳の発達障害
演者：黒田洋一郎［東京都神経科学総合研究所/CREST（戦略創造研究推進事業；科学技術振興機構）］

■シンポジウム午前の部（座長：末原則幸，磯部健一）
●本邦における胎内でのカフェイン曝露および薬物代謝への影響について
演者：河田　興（香川大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター新生児部）
●環境由来化学物質の胎児期曝露の影響
演者：仲井邦彦（東北大学医学系研究科環境保健医学）
●内分泌かく乱化学物質の小児への影響―尿道下裂・停留精巣など先天異常と乳幼児の神経発達に関する疫学研究
演者：岸　玲子（北海道大学大学院医学研究科予防医学講座公衆衛生学分野）
●母児のダイオキシン類への曝露状況と次世代への影響
演者：髙井　泰（埼玉医科大学総合医療センター産婦人科）
●妊娠中の低栄養は胎盤血管機能を変化させる
演者：木村芳孝（東北大学先進医工学研究機構）
●胎生期の低栄養が成人後の肥満，生活習慣病発症の危険因子となる機序の解析
演者：由良茂夫［京都大学大学院医学研究科・器官外科学（婦人科学産科学）］

■シンポジウム午後の部（座長：堺　武男，杉本充弘）
●本邦における神経管閉鎖障害発生動向と葉酸摂取勧告の効果―日本産婦人科医会外表奇形等調査から―
演者：山中美智子（横浜市立大学医学部産婦人科/日本産婦人科医会/神奈川県立こども医療センター産婦人科）
●妊婦の喫煙が周産期事象に及ぼす影響の検討―日本産科婦人科学会周産期登録システム登録施設のデータをもとに―
演者：中村　靖［順天堂大学医学部産婦人科学教室（順天堂練馬病院産科・婦人科）］
●カンガルーケアが早期産の母子関係に与える長期的な影響について
演者：北島博之（大阪府立母子保健総合医療センター新生児科）
●食生活など生活環境が胎児甲状腺機能に及ぼす影響に関する研究
演者：大平裕己（大阪府立母子保健総合医療センター産科）
●周産期のヨード含有剤使用が胎児・新生児の甲状腺機能に及ぼす影響
演者：原田正平（国立成育医療センター研究所成育医療政策科学研究室）
●妊娠と労働―特に妊娠した看護師における「看護業務が妊娠に与える影響」と「妊娠が看護業務に与える影響」の検討―
演者：小林康祐（総合病院国保旭中央病院産婦人科）

## 【第 24 回】母体・胎児・新生児の心肺機能低下時の反応と対応

会長：田村正徳
会期：平成 18（2006）年 1 月 20 日（金），21 日（土）
会場：大宮ソニックシティ大ホール（埼玉）

**■プレコングレス**

**●Consensus 2005: What's changing in neonatal resuscitation？**
演者：Susan Niermeyer（米国小児科学科NRP総括責任者）

**■シンポジウム午前の部（座長：板橋家頭夫，田口智章）**

**●新生児仮死と酸素毒性―動物実験による100％酸素蘇生の実際―**
演者：近藤昌敏（東京都立八王子小児病院新生児科）

**●新生児に対する酸素曝露の影響の検討―酸化ストレスマーカーを用いた検討―**
演者：加藤英二（鹿児島市立病院新生児センター／社会保険船橋中央病院周産期母子医療センター）

**●新生児心肺蘇生における酸素投与の功罪―酸素投与に対する抗酸化力とフリーラジカルへの影響―**
演者：江崎勝一（埼玉医科大学総合医療センター新生児科）

**●変動一過性徐脈出現時の母体酸素投与に関する検討**
演者：鈴木俊治（東京臨海病院産婦人科／葛飾赤十字産院産婦人科）

**●正期産超緊急帝王切開術における子宮内胎児蘇生としての緊急子宮弛緩の検討**
演者：入駒慎吾（聖隷浜松病院麻酔科）

**●変動一過性徐脈に対する羊水注入の当院における成績**
演者：福田裕償（大阪大学大学院医学系研究科産科婦人科学教室）

**■シンポジウム午後の部（座長：北島博之，久保隆彦）**

**●羊水寒栓症における予後因子としてのインターロイキン（IL）8**
演者：大井豪一（浜松医科大学産婦人科）

**●産科領域における肺水腫の病態とその管理について**
演者：臼井真由美（埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター母体・胎児部門）

**●胎児水腫に伴う母体肺水腫（Mirror症候群）の発症機序と母体管理**
演者：林　聡（国立成育医療センター周産期診療部）

**●心疾患合併妊娠での心肺機能低下例の検討**
演者：牧野康男（東京女子医科大学産婦人科学教室／母子総合医療センター）

**●双胎間輸血症候群（TTTS）をおこした胎児・新生児の循環機能低下時の対応**
演者：中田雅彦（山口大学医学部附属病院周産母子センター /Japan Fetoscopy Group）

**●羊胎仔を用いた胎児呼吸循環補助システムの検討―胎児治療における呼吸循環補助を目指して―**
演者：野村泰久（福島県立医科大学医学部産科婦人科）

**●超早産症例の周産期管理―在胎22週から25週の早産症例におけるFetal inflammationと児の生後24時間の循環動態との関連―**
演者：古川誠志（宮崎大学医学部産婦人科・周産母子センター）

**●超低出生体重児の循環動態の早期安定化に向けた臍帯のmilkingに関する検討**
演者：細野茂春（日本大学板橋病院総合周産期母子医療センター新生児病科）

**●新生児敗血症性ショック時の心肺機能低下に対する血液浄化療法の有用性の検討**
演者：徳久琢也（鹿児島市立病院新生児センター）

**●早産児に生じる晩期循環不全の対応**
演者：増本健一（東京女子医科大学母子総合医療センター）

## 【第 25 回】周産期の輸血療法をめぐって

会長：末原則幸
会期：平成 19（2007）年 1 月 19 日（金），20 日（土）
会場：大阪市中央公会堂（大阪）

**■プレコングレス**

**●我が国の輸血事情―より安全な血液供給を目指して**
演者：谷　慶彦（大阪赤十字血液センター副所長）

**●より安全な輸血を目指して―輸血の功罪**
演者：高松純樹（名古屋大学医学部輸血部教授）

**■シンポジウム午前の部「周産期の輸血療法をめぐって：産科・母体」（座長：大戸　斉，齋藤　滋）**

**●分娩時大量出血の要因とその対応**
演者：濱中拓郎（大阪府立母子保健総合医療センター産科）

**●［関連演題］周産期大量出血における当科での対応に関する検討**
演者：橘　大介（大阪市立大学医学部産婦人科）

●［関連演題］ITP合併妊婦に対する分娩時出血予防ストラテジーの構築
演者：下屋浩一郎（川崎医科大学産婦人科）
●当科における自己血貯血の適応と有用性の再検討
演者：熊澤由紀代（秋田大学医学部生殖発達医学講座産婦人科分野）
●妊産婦における自己血輸血の安全性の検討―多施設共同研究に向けての予備研究―
演者：渡辺典芳（国立成育医療センター周産期診療部）
●［関連演題］前置癒着胎盤の実態調査と自己血貯血を併用した二期的手術に関して
演者：炭竈誠二（名古屋大学医学部産婦人科）

■シンポジウム午後の部「周産期の輸血療法をめぐって：胎児・新生児」（座長：茨　聡，楠田　聡）
●母子の血液型不適合に対する介入
演者：大戸　斉（福島県立医科大学輸血・移植免疫部）
●免疫グロブリンを用いた先天性ウイルス感染症に対する胎児治療：多施設研究の提案と現況報告
演者：松田秀雄（防衛医科大学校）
●胎児診断された外科疾患における自己血（臍帯血）貯血の有用性
演者：宮下　進（長野県立こども病院総合周産期母子医療センター新生児科）
●［関連演題］極低出生体重児における臍帯のmilkingによる赤血球輸血の減少効果
演者：細野茂春（日本大学医学部附属板橋病院総合周産期母子医療センター新生児病科）
●新生児，特に極低出生体重児に対する輸血方法の変遷―大阪新生児診療相互援助システム（NMCS）のアンケートから―
演者：玉井　普（淀川キリスト教病院小児科）
●［関連演題］新生児の交換輸血をめぐる問題点
演者：小山典久（豊橋市民病院小児科）

## 【第26回】周産期の栄養

会長：小泉武宣
会期：平成20（2008）年1月18日（金），19日（土）
会場：ホテルメトロポリタン高崎（群馬）

■プレコングレス「科学的根拠に基づく母乳育児支援」（座長：佐藤　章，吉池信男）
●母乳育児を保護・推進・支援するためのスタートライン―母乳代替品の販売についての国際基準は守られているか：日本の現状と今後の方向―
演者：瀬川雅史（勤医協札幌病院小児科）
●母乳育児と薬剤―科学的な情報収集の実際とインフォームドチョイス―
演者：関　和男（横浜市立大学市民総合医療センター小児科）
●Breastfeeding friendly NICU構築戦略ー周産期センターにおけるエビデンスに基づいた母乳育児支援の効果
演者：大山牧子（神奈川県立こども医療センター新生児科）

■シンポジウム午前の部「周産期」（座長：松田義雄，長　和俊）
●DOHaD（Developmental Origins of Heath and Disease）説の遺伝学的検証
―生活習慣病関連遺伝子群の遺伝子多型と胎児発育との関連から―
演者：長田久夫（千葉大学医学部附属周産期母性科）
●妊娠前Body Mass Indexおよび妊娠中の体重増加量は周産期の予後規定因子である
演者：村上真紀（独立行政法人医薬品医療機器総合機構）
●妊娠期，授乳期の栄養制限および高脂肪食摂取ラットによる，仔ラット高血圧モデル作成および胎内プログラミングについての検討
演者：高橋秀憲（福島県立医科大学医学部産科婦人科）
●妊娠高血圧腎症患者の血管内皮機能正常化を目標とした栄養管理に関する研究
演者：鈴木佳克（名古屋市立大学産科婦人科）
●出生体重，胎盤重量および出生体重／胎盤重量比―過去19年間の変遷および相関する因子の検討―
演者：門脇浩三（河内総合病院産婦人科）
●［関連演題］トランス脂肪酸が胎児発育その他に及ぼす影響について
演者：和田芳郎（医療法人生長会ベルランド総合病院小児科）

■シンポジウム午後の部「新生児」（座長：上谷良行，板橋家頭夫）
●早産SGA児の栄養管理はAGA児と同じでよいのか？
演者：三浦文宏（昭和大学小児科）
●［関連演題］超低出生体重児のNICU入院中の栄養が長期予後に与える影響
演者：大西　聡（大阪市立総合医療センター新生児科）
●超低出生体重児の栄養状態・合併症と脳波成熟遅延についての検討
演者：早川昌弘（名古屋大学医学部附属病院周産母子センター）
●［関連演題］低出生体重児における栄養と精神運動発達との関係
演者：田中恭子（順天堂大学医学部小児科）

●新生児壊死性腸炎の予防を見据えたProbioticsおよびn-3系多価不飽和脂肪酸投与について―消化管粘膜に与える影響を中心に―
演者：大塚宜一（順天堂大学医学部小児科・思春期科学教室）
●新生児・未熟児の腸内細菌叢異常に対するprobiotics・prebioticsの免疫学的・栄養学的効果
演者：金森　豊（東京大学小児外科）
●［トピックス］新生児期発症のミルクアレルギー
演者：三科　香（国立成育医療センター周産期診療部／新生児乳児アレルギー研究会）

## 【第27回】早産重症胎児発育不全 severe preterm FGR（IUGR）

会長：大戸　斉
会期：平成21（2009）年1月16日（金），17日（土）
会場：ビッグパレットふくしま（福島）

■プレコングレス「医療安全」（座長：齋藤　茂，大戸　斉）
●B型肝炎（HB）ワクチンの新しい投与法
演者：大戸　斉（福島県立医科大学附属病院輸血・移植免疫部）
●周産期からのウイルス感染予防
演者：多屋馨子（国立感染症研究所感染症情報センター）
●周産期医療と刑事訴追
演者：佐藤　章（福島県立医科大学産婦人科）
●宗教的輸血拒否に対する対応ガイドライン
演者：大戸　斉（福島県立医科大学附属病院輸血・移植免疫部）

■シンポジウム午前の部「病因と病態」（座長：中尾秀人，齋藤　滋）
●胎盤病理からみたFGR（IUGR）
演者：中山雅弘（大阪府立母子保健総合医療センター検査科）
●Severe preterm IUGRにおけるconfined placental mosaicismの関与―特に周産期から出生後12カ月について―
演者：三浦清徳（長崎大学産婦人科）
●抗リン脂質抗体によるFGR（IUGR）の病態解明―モデルマウスからの解析―
演者：川口里恵（東京慈恵会医科大学産婦人科）
●胎児発育不全モデルラットの中枢神経における組織学的および分子生物学的変化に関する研究
演者：早川昌弘（名古屋大学医学部附属病院周産母子センター）
●胎児発育不全における消化管機能障害―消化管穿孔ならびに胎便関連性腸閉塞に関する検討―
演者：奥山宏臣（兵庫医科大学小児外科）
●妊娠26週未満に診断した一児がFGR（IUGR）である一絨毛膜双胎（Selective IUGR）の問題点
―臍帯動脈血流波形による病型分類に基づく予後の検討―
演者：石井桂介（聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター周産期科）

■シンポジウム午後の部「管理と予後」（座長：久保隆彦，伊藤裕司）
●わが国の基幹周産期施設における早産，Small for gestational age単胎児の出生状況と問題点
演者：宮下　進（長野県立こども病院総合周産期母子医療センター新生児科）
●当センターにおけるFGR（IUGR）生育限界（在胎週数，出生体重）の検討
演者：中澤祐介（鹿児島市立病院総合周産期母子医療センター新生児科）
●［関連演題］Severe preterm FGR（IUGR）の娩出時期の検討
演者：種元智洋（国立成育医療センター周産期診療部）
●［関連演題］羊水過少を伴うsevere FGR（IUGR）に対するtocolysis，人工羊水注入を用いた管理法の可能性について
―パイロットスタディ―
演者：高橋雄一郎（国立病院機構長良医療センター産科）
●早産SGA児のNICU入院中および退院後の成長に関する検討
演者：櫻井基一郎（昭和大学小児科）
●極低出生体重児の高次脳機能発達について―子宮内発育および胎外発育と認知発達との関連性―
演者：田中恭子（順天堂大学医学部小児科）
●FGR（IUGR）を伴う極低出生体重児の赤血球膜脂肪酸組成と発達予後
演者：東海林宏道（順天堂大学医学部小児科）

## 【第28回】周産期と医療安全

会長：齋藤　滋
会期：平成22（2010）年1月15日（金），16日（土）
会場：国立京都国際会館（京都）

■プレコングレス「産科医療と新生児医療の医療安全」（座長：齋藤　茂）
●医療事故判例から我々は「なに」を学ぶのか
演者：加部一彦（愛育病院新生児科／医療安全管理室）

●産科における偶発事例報告収集事業
演者：川端正清（社会福祉法人同愛記念病院産婦人科）
●周産期医療体制整備の今後の方向性について
演者：中山　鋼（厚生労働省医政局救急・周産期医療等対策室）

■シンポジウム午前の部「新生児・薬の医療安全」（座長：中村友彦，久保隆彦）
●挿管時の医療安全―動脈血酸素飽和度モニターと終末呼気二酸化炭素検出器の役割―
演者：細野茂春（日本大学医学部附属板橋病院総合周産期母子医療センター新生児病科）
●全国産科施設へのアンケート結果に基づくSTS（Early skin to skin contact）の現状と課題
演者：坂口けさみ（信州大学医学部）
●産科施設における正期産新生児における出産直後のカンガルーケア（skin to skin contact）の安全性について
演者：渡部晋一（倉敷中央病院小児科）
●新生児集中治療室における医療関連有害事象の実態調査と評価方法の検討
演者：大城　誠（大垣市民病院第二小児科）
●周産期・新生児領域でPMDAに報告された事例解析：周産期医療安全に関する検討
演者：石井健介（独立行政法人医薬品医療機器総合機構安全第一部）
●周産期・新生児領域における医薬品の安全対策とその課題
演者：村上真紀（独立行政法人医薬品医療機器総合機構新薬審査第二部）
●薬物治療を受けている母親の授乳の安全性の検討
演者：青木宏明（国立成育医療研究センター周産期診療部）

■シンポジウム午後の部「周産期医療システムと医療安全」（座長：照井克生，大槻克文）
●妊産婦死亡の原因究明に関する厚生労働省研究班の活動 妊産婦の安全確保への取組み―妊産婦死亡を防ぐために―
演者：吉松　淳（国立循環器病センター周産期・婦人科／大分大学地域医療・産婦人科）
●妊娠リスク自己評価表を用いた分娩の分散化と集約化
演者：坂野伸弥（トヨタ記念病院周産期母子医療センター産科）
●近接した公立病院における産婦人科共同運用についての包括的研究
演者：橋本洋之（泉州広域母子医療センター市立貝塚病院）
●安全を確保した院内助産師システムの推進
演者：遠藤俊子（京都橘大学看護学部）
●産科医師・助産師の連携のための医療安全
演者：鈴木俊治（葛飾赤十字産院産科）
●切迫早産例の分娩時期を予測することによるNICU病床の有効活用
演者：米田　哲（富山大学産科婦人科学）
●大学病院における緊急帝王切開“30分ルール”への挑戦
演者：鶴岡信栄（千葉大学医学部附属病院周産期母性科）
●当院における超緊急帝王切開術を支えるシステム
演者：入駒慎吾（聖隷浜松病院麻酔科）

## 【第29回】周産期における鎮静・鎮痛・麻酔

会長：橋本武夫
会期：平成23（2011）年1月14日（金），15日（土）
会場：どんぐり村“森のコンサートホール”（佐賀）

■新生児蘇生法緊急講演
●コンセンサス2010を受けた新生児蘇生法ガイドラインの解説
演者：田村正徳（日本周産期・新生児医学会／埼玉医科大学総合医療センター）

■プレコングレス（座長：橋本武夫）
●［歓迎講演］九州新生児研究会と“どんぐり村”～ハイリスク児から超重症児のパラダイス，そして療育まで～
演者：橋本武夫（聖マリア学院大学，社会福祉法人若楠）
●お産の痛みが母性を育てるか？―硬膜外麻酔分娩の臨床経験―
演者：島岡昌幸（島岡医院）
●［委員会報告］母体・胎児・新生児における鎮静・鎮痛・麻酔に関する全国アンケート調査結果
演者：照井克生（埼玉医科大学総合医療センター産科麻酔科）

■シンポジウム午前の部「母体の麻酔」（座長：松田義雄，久保隆彦）
●［解説講演］母体・胎児の麻酔
演者：照井克生（埼玉医科大学総合医療センター産科麻酔科）
●硬膜外麻酔による分娩管理―各種局所麻酔薬の胎盤通過性と新生児における代謝―
演者：淵　勲（淵レディースクリニック）

●Neuraxial analgesiaによる無痛分娩での児頭回旋異常発生率について―麻酔法別による検討―
演者：岡田尚子（北里大学病院総合周産期母子医療センター）
●無痛分娩中の緊急帝王切開術での硬膜外カテーテルの信頼性の研究―脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔（CSEA）と硬膜外麻酔の比較―
演者：角倉弘行（国立成育医療研究センター手術集中治療部）
●当院におけるフェンタニルを用いたiv-PCAによる産痛緩和の試み
演者：宮越　敬（慶應義塾大学医学部産婦人科）
●帝王切開術後鎮痛法としての腹横筋膜面ブロックの有効性
演者：大西庸子（北里大学病院総合周産期母子医療センター）
●低分子量ヘパリン（エノキサパリン）による予防的抗凝固療法の検討―麻酔法の選択と血液凝固学的指標の確立へ向けて―
演者：牧野真太郎（順天堂大学医学部産科婦人科）

■シンポジウム午後の部「胎児・新生児の麻酔と鎮静」（座長：早川昌弘，田口智章）
●［解説講演］胎児・新生児の鎮静・鎮痛・麻酔
演者：田中　基（埼玉医科大学総合医療センター産科麻酔科）
●胎児の検査・治療150例における経胎盤的胎児麻酔法の実際と問題点
演者：大橋夕樹（杏林大学医学部麻酔科学教室）
●胎盤吻合血管レーザー凝固術における胎児不動化のためのレミフェンタニルの至適投与量の検討
演者：入駒慎吾（国立成育医療研究センター手術集中治療部・産科麻酔部門）
●超低出生体重児の急性期循環管理における塩酸モルヒネ静注療法の有効性と安全性について
演者：豊島勝昭（神奈川県立こども医療センター新生児科）
●当科における新生児外科疾患の周術期麻酔に関する検討
演者：木下義晶（九州大学大学院医学研究院小児外科／保健学科）
●未熟児網膜症に対する光凝固術施行時の鎮痛・鎮静～多施設共同研究～
演者：佐藤義朗（名古屋大学医学部附属病院周産母子センター）
●ポジショニングが早産児の睡眠覚醒状態に及ぼす影響
演者：木原秀樹（長野県立こども病院リハビリテーション科）
●早産児の足底採血における疼痛緩和法
演者：内田美恵子（長野県立病院機構研修センター）

## 【第30回】長期予後からみた出生前診断症例における周産期管理の再評価

会長：松田義雄
会期：平成24（2012）年2月3日（金），4日（土）
会場：シェーンバッハ・サボー（東京）

■プレコングレス（座長：松田義雄）
●東日本大震災でわれわれに何ができたのか，何ができなかったか。そして，これからわれわれはどうすれば良いのか？
演者：久保隆彦（国立成育医療研究センター周産期センター産科／日本周産期・新生児医学会 東日本大震災対策委員会）
●日本産科婦人科学会周産期登録データベースの現状と問題点
演者：佐藤昌司（大分県立病院総合周産期母子医療センター）
●［委員会報告］アンケート調査からみた新生児フォローアップと周産期データベースの現状と問題点
演者：伊藤裕司（日本周産期・新生児医学会 周産期シンポジウム運営委員会／国立成育医療研究センター周産期センター新生児科）

■シンポジウム午前の部「長期予後からみた出生前診断と治療」（座長：与田仁志，中井章人）
●胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術が施行された双胎間輸血症候群の予後と予後影響因子の検討
演者：難波由喜子（国立成育医療研究センター周産期センター／東京小児療育病院小児科）
●極低出生体重が予測された胎児発育不全児の超音波所見と短期新生児予後・長期神経学的予後との関連の検討
演者：松下　充（聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター産科）
●母体及び胎盤・臍帯要因で極低出生体重児として出生した重度胎児発育不全児の3歳時の精神運動発達
演者：森岡一朗（神戸大学医学部附属病院周産母子センター／神戸大学大学院医学研究科小児科学分野）
●長期神経学的予後からみた重度胎児発育不全（FGR）の周産期管理の検討
演者：前出喜信（鹿児島市立病院総合周産期母子医療センター新生児科）
●NICUにおける長期的フォローアップと家族への支援
演者：永田雅子（名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター）

■シンポジウム午後の部「長期予後からみた出生後の治療」（座長：増本幸二，光田信明）
●当院における出生前診断された小児外科疾患の長期予後―先天性食道閉鎖症および先天性横隔膜ヘルニア症例での検討―
演者：小西祥平（長野県立こども病院総合周産期母子医療センター新生児科）
●当院における先天性横隔膜ヘルニアの合併症と予後
演者：伊藤美春（名古屋大学医学部附属病院周産母子センター小児科）
●当科にて出生前診断されたisolated CDHの長期予後
演者：永田公二（九州大学大学院医学研究院小児外科）

●新生児期に手術を要する重症先天性心疾患の発育・発達に関する検討
演者：小松篤史（長野県立こども病院総合周産期母子医療センター産科）
●胎児期に診断された羊水過少を伴う尿路通過障害の児の長期予後―腎機能と下部尿路機能およびQOLに関して―
演者：石井桂介（大阪府立母子保健総合医療センター産科）
●出生前診断に伴う遺伝カウンセリングの必要性―親の妊娠・出産・育児体験から―
演者：中込さと子（山梨大学大学院医学工学総合研究部／元広島大学病院遺伝子診療部）

## 【第 31 回】成熟児の asphyxia と cerebral palsy

会長：北島博之
会期：平成 25（2013）年 1 月 25 日（金），26 日（土）
会場：大阪国際会議場（大阪）

■プレコングレス（座長：岡井　崇，中村友彦，北島博之）
●産科医療補償制度 原因分析委員会からの報告 出生時に low pH，low Apgar ではなかった脳性麻痺児の検討
演者：松田義雄（東京女子医科大学産婦人科学・母子総合医療センター）
●［委員会報告］周産期学シンポジウム アンケート調査報告 本邦における新生児低酸素性虚血性脳症の現状と病態に関する研究
演者：早川昌弘（名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター）
●Therapeutic Potential of Human Umbilical Cord Blood Derived Mesenchymal Stem Cells for Perinatal Asphyxia
演者：Won Soon Park（Department of Pediatrics, Samsung Medical Center, Sungkyunkwan University School of Medicine）

■シンポジウム午前の部「その疫学と予防」（座長：田中　守，長　和俊）
●［基調講演］CTGの限界
演者：中井章人（日本医科大学産婦人科）
●母体の脂質栄養が新生児低酸素性虚血性脳症に与える影響
演者：菅沼広樹（順天堂大学医学部附属静岡病院新生児センター）
●胎児脳循環からみた分娩管理―胎児二酸化炭素分圧の重要性―
演者：冨松拓治（川崎医科大学産婦人科）
●プロスタグランジン受容体作動薬による脳血管内皮細胞保護療法―低酸素虚血受傷後の脳へのライフライン確保を目指す薬物治療アプローチ―
演者：谷口英俊（大阪大学大学院医学系研究科小児科）
●Birth asphyxia に関連した低酸素性虚血性脳症及び脳性麻痺の発症頻度とその周産期背景
―総合周産期母子医療センターにおける満期産単胎分娩 13,000 例の検討から―
演者：日高庸博（大阪府立母子保健総合医療センター産科）
●宮崎県における脳障害の変遷―Population-based 研究から―
演者：児玉由紀（宮崎大学医学部附属病院産婦人科・総合周産期母子医療センター）

■シンポジウム午後の部「その疫学と治療 / 予後」（座長：大槻克文，細野茂春）
●満期産児の asphyxia と予後―大阪新生児診療相互援助システム（NMCS）の入院個票データベースより―
演者：平野慎也（大阪府立母子保健総合医療センター新生児科）
●［指定演題］出生前・出生時は軽微な異常だが，遅発性・進行性の症状を呈する周産期脳障害
演者：佐藤義朗（名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター新生児部門）
●低酸素性虚血性脳症の神経学的予後予測における慢性期 MRI と経時的脳波所見の有用性について
演者：林　誠司（岡崎市民病院小児科）
●脳低温療法を行った児の長期予後
演者：菅野雅美（埼玉県立小児医療センター未熟児新生児科）
●脳低温療法（BHT）を施行した低酸素性虚血性脳症（HIE）症例の神経学的予後と周産期予後予測因子の検討
演者：徳久琢也（鹿児島市立病院総合周産期母子医療センター新生児科／福田病院地域周産期母子医療センター新生児科）

## 【第 32 回】Preterm を考える～preterm 児の CP と late preterm の諸問題～

会長：田口智章
会期：平成 26（2014）年 2 月 7 日（金），8 日（土）
会場：九州大学医学部百年講堂大ホール（福岡）

■プレコングレス「新生児の難治性良性腫瘍の現状と展望」（座長：北川博昭，田口智章）
●新生児腫瘍の胎児診断
演者：藤原ありさ（九州大学病院総合周産期母子医療センター）
●胎児治療，EXIT
演者：遠藤誠之（大阪府立急性期・総合医療センター産婦人科）
●胎児良性腫瘍に対する EXIT の麻酔管理
演者：佐藤正規（国立成育医療研究センター手術・集中治療部麻酔科）
●リンパ管腫
演者：小野　滋（自治医科大学小児外科）

●**難治性肝血管腫**
演者：黒田達夫（慶應義塾大学医学部小児外科）
●**奇形腫**
演者：木下義晶（九州大学大学院医学研究院小児外科）

■**会長指定講演（座長：原　寿郎）**
●**母体血を用いた胎児遺伝子診断の現状**
演者：関沢明彦（昭和大学医学部産婦人科学講座）

■**シンポジウム午前の部「Late preterm」（座長：与田仁志，光田信明）**
●**［基調講演］早産児の周産期脳障害と発達像**
演者：早川文雄（岡崎市民病院脳神経小児科）
●**Late preterm児の3歳時低身長の発生頻度：神戸市におけるpopulation-based研究**
演者：森岡一朗（神戸大学医学部附属病院周産母子センター／神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野）
●**Late preterm児の新生児呼吸障害発症関連因子に関する検討（多施設共同研究）**
演者：菅　幸恵［国立病院機構成育医療ネットワークLPB研究グループ（国立病院機構長崎医療センター産婦人科）］
●**産科的に考察したlate preterm児の長期予後**
演者：大場智洋（昭和大学病院総合周産期母子医療センター産科部門）
●**Late preterm児における神経学的予後とそのリスク因子やMRIに関する検討**
演者：杉山裕一朗（名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター新生児部門）

■**シンポジウム午後の部「Preterm児のCP」（座長：中村友彦，村越　毅）**
●**［委員会報告］Late preterm児（34～36週）の低酸素性虚血性脳症**
演者：早川昌弘（名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター）
●**妊娠32週未満前期破水症例における重症脳性麻痺の発生頻度と産科的リスク因子**
演者：笹原　淳（大阪府立母子保健総合医療センター産科）
●**当院におけるpreterm児の脳性麻痺（CP）発症因子の検討**
演者：石原千詠（鹿児島市立病院総合周産期母子医療センター新生児科）
●**宮崎県のpopulation-based studyに基づくpretermとlate preterm児の脳障害**
演者：山下理絵（宮崎大学医学部附属病院産婦人科・総合周産期母子医療センター）
●**早産期発症の常位胎盤早期剥離における予後不良因子に関する検討**
演者：小川正樹（東京女子医科大学母子総合医療センター）

## 【第33回】周産期の炎症と感染～長期予後改善を目指して～

会長：金山尚裕
会期：平成27（2015）年1月23日（金），24日（土）
会場：アクトシティ浜松（静岡）

■**プレコングレス1「周産期学シンポジウム アンケート調査報告」（座長：中村友彦）**
●**［委員会報告］周産期の感染と炎症に対しての産科的診断及び治療の施設基準に関するアンケート調査報告：施設間の診断と治療に関するバリエーション**
演者：村越　毅（日本周産期・新生児医学会 周産期学シンポジウム運営委員会／聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター）

■**プレコングレス2「光と周産期医学」（座長：山本樹生）**
●**近赤外線を用いた生体計測―原理から臨床応用まで―**
演者：山下　豊（浜松ホトニクス株式会社中央研究所）
●**光を用いた新生児の脳循環と機能評価**
演者：日下　隆（香川大学医学部小児科学講座）
●**近赤外線を用いた新しい母児管理**
演者：金山尚裕（浜松医科大学医学部産婦人科学講座）

■**シンポジウム午前の部「周産期の炎症・感染への挑戦」（座長：板倉敦夫，早川昌弘）**
●**［指定演題］早産児の後遺症発症の減少を目指して～分子状水素による炎症制御の観点から～**
演者：小谷友美（名古屋大学医学部附属病院産婦人科）
●**周産期におけるω3多価不飽和脂肪酸の抗炎症作用と早産予防効果に関する研究**
演者：山下亜紀（東京大学医学部附属病院女性診療科）
●**羊水中顆粒球エラスターゼ値を用いた子宮内炎症評価と周産期予後改善を目指した妊娠管理法の検討**
演者：宮崎　顕（名古屋第一赤十字病院産婦人科／宮崎産婦人科）
●**胎便性腹膜炎の児の1歳6カ月健診における発育と腸管機能の予後**
演者：村田将春（大阪府立母子保健総合医療センター産科）
●**先天性サイトメガロウイルス感染の効果的な周産期管理法の確立を目指して**
演者：森岡一朗（神戸大学大学院医学研究科小児科学分野こども急性疾患学部門）

■シンポジウム午後の部「絨毛膜羊膜炎と長期予後」（座長：内山　温，石井桂介）

●絨毛膜羊膜炎の胎盤病理について

演者：竹内　真（大阪府立母子保健総合医療センター検査科）

●組織学的絨毛膜羊膜炎の重症度と超低出生体重児の予後：子宮頸管sludgeおよび臍帯血プロカルシトニンとの関連

演者：古田　賢（宮崎県立日南病院産婦人科）

●Fetal inflammatory response syndrome（FIRS）が早産児の新生児合併症および神経発達に与える影響について

演者：須波　玲（山梨県立中央病院総合周産期母子医療センター母性科）

●組織学的絨毛膜羊膜炎と3歳での神経発達予後の関連の検討

演者：宮原　純（聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター）

●組織学的絨毛膜羊膜炎が25週から29週出生の極低出生体重児の神経学的長期予後に与える影響

演者：小久保雅代（長野県立こども病院総合周産期母子医療センター新生児科）

## 【第34回】母児の予後からみた娩出のタイミングと方法

会長：中尾秀人

会期：平成28（2016）年2月5日（金），6日（土）

会場：神戸国際会議場（神戸）

■プレコングレス

●［委員会報告］周産期学シンポジウム運営委員会調査報告 リトドリン塩酸塩の使用実態ならびに副作用に関する調査報告

座長：長　和俊（北海道大学病院周産母子センター）

演者：大槻克文（昭和大学江東豊洲病院周産期センター）

●Single-Shot時代の胎児MRI―胎児MR診断における変化とみえてきたもの―

座長：中尾秀人（兵庫県立こども病院周産期医療センター）

演者：赤坂好宣（兵庫県立こども病院放射線科）

●ここが変わったNCPRコンセンサス2015

座長：田村正徳（埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター）

演者：細野茂春（日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法委員会/日本大学医学部小児科学系小児科学分野）

■シンポジウム午前の部（座長：村越　毅，小久保雅代）

●子宮内炎症における母児の予後からみた娩出のタイミングについての検討

演者：田中智子（国立病院機構佐賀病院産婦人科）

●子宮内炎症および病原微生物の的確な評価と新たな周産期管理法

演者：米田徳子［富山大学大学院医学薬学研究部（医学系）産科婦人科学教室］

●胎児先天性心疾患における予後予測因子に関する検討―Cardiovascular profile scoreの有用性―

演者：三好剛一（国立循環器病研究センター周産期・婦人科）

●胎児水腫の予後因子に関する後方視的検討～愛知県におけるpopulation based study ～

演者：中山　淳（名古屋第一赤十字病院総合周産期母子医療センター小児科新生児科）

●早産期発育不全児における予後因子解析による至適分娩時期の検討

演者：笹原　淳（大阪府立母子保健総合医療センター産科）

●胎児循環動態評価の新しい指標の確立と胎児発育不全への応用

演者：橘　大介（大阪市立大学大学院医学研究科女性生涯医学）

■シンポジウム午後の部（座長：大槻克文，臼井規朗）

●基幹周産期施設における前置胎盤症例取扱いの実態と推移―周産期登録データベース2001－2013年登録例の解析―

演者：多田和美（獨協医科大学病院産科婦人科，総合周産期母子医療センター産科部門）

●癒着胎盤予測スコアを用いた前置胎盤の手術管理

演者：谷村憲司（神戸大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター産科）

●母児の予後からみた前置胎盤症例における娩出のタイミング

演者：新垣達也（昭和大学医学部産婦人科学講座）

●妊娠36週の双胎妊娠における前方視的コホート研究―母児の安全を考慮した至適分娩時期を探る―

演者：山本　亮（大阪府立母子保健総合医療センター産科）

●母児の予後からみた双胎間輸血症候群における胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術後の娩出時期に関する検討

演者：小澤克典（国立成育医療研究センター胎児診療科）

## 【第 35 回】周産期医療における「遺伝」を考える

会長：光田信明
会期：平成 29（2017）年 2 月 10 日（金），11 日（土）
会場：グランフロント大阪 ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター（大阪）

**■プレコングレス**

**●［委員会報告］周産期施設における遺伝診療の現状（周産期学シンポジウム運営委員会と倫理委員会による共同調査から）**
座長：板倉敦夫（順天堂大学医学部附属順天堂医院産科）
演者：和田和子（大阪大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター）

**●［教育講演］NIPT の遺伝カウンセリングにおける課題と展望（倫理講習）**
座長：左合治彦（国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター）
演者：四元淳子（お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系）

**●［会長指定講演］周産期から見つめ直す児童虐待ー愛着形成障害の視点から**
座長：光田信明（大阪府立母子保健総合医療センター産科）
演者：友田明美（福井大学子どものこころの発達研究センター発達支援研究部門）

**■シンポジウム午前の部「18 トリソミーを考える」（座長：米田徳子，臼井規朗）**

**●［委員会報告］18 トリソミーの児に対する診療と意識～遺伝医療に関する全国調査より～**
**（周産期学シンポジウム運営委員会と倫理委員会による共同研究事業）**
演者：板倉敦夫（順天堂大学医学部附属順天堂医院産婦人科）

**●18 トリソミー症例の周産期管理と児の転帰**
演者：望月純子（北里大学医学部産婦人科）

**●出生前診断された 18 トリソミー症例の検討～Supportive Care で母児の QOL は向上するのか～**
演者：長瀬寛美（神奈川県立こども医療センター産婦人科）

**●18 トリソミー児の生存退院に関与する因子についての検討～多施設共同研究による後方視的検討～**
演者：加藤英子（公立陶生病院小児科）

**●13，18，21 トリソミー患児に対する外科的治療症例の検討**
演者：井深奏司（大阪府立母子保健総合医療センター小児外科）

**■シンポジウム午後の部「遺伝学的出生前診断を考える」（座長：村越　毅，長　和俊）**

**●NIPT における Fetal fraction についての検討～cfDNA 解析結果と臨床データの照合解析**
演者：鈴森伸宏（名古屋市立大学大学院医学研究科産科婦人科）

**●希少遺伝性難病の出生前診断の現状**
演者：池田真理子（神戸大学医学部小児科）

**●単一遺伝子疾患に対する着床前診断における倫理・技術・成績における問題とその対策**
演者：中林　章（慶應義塾大学医学部産婦人科）

**●出生前遺伝学的検査における心理社会的要因の調査**
演者：白土なほ子（昭和大学医学部産婦人科講座）

**●［関連演題］遺伝カウンセリング・胎児診断に特化した施設の運営経験から見えてきたこと**
演者：中村　靖（FMC 東京クリニック）

## 【第 36 回】母体・胎児・新生児の立場から常位胎盤早期剥離を考える～母児の予後改善のために～

会長：中村友彦
会期：平成 30（2018）年 1 月 19 日（金），20 日（土）
会場：メトロポリタン長野（長野）

**■プレコングレス（座長：中村友彦）**

**●常位胎盤早期剥離と胎盤病理**
演者：竹内　真（大阪母子医療センター病理診断科）

**●常位胎盤早期剥離と低体温療法**
演者：岩田欧介（名古屋市立大学新生児・小児医学分野）

**●［特別講演］研究倫理と生命倫理**
演者：福嶋義光［信州大学名誉教授，特任教授（医学部）］

**■シンポジウム午前の部「常位胎盤早期剥離の診断，児の予後」（座長：石井桂介，飛彈麻里子）**

**●慢性に経過する常位胎盤早期剥離に対する MRI 拡散強調画像の有用性の検討**
演者：水谷輝之（名古屋第二赤十字病院産婦人科）

**●常位胎盤早期剥離発症リスクおよび病態解明のための超音波検査有用性の検討**
演者：新垣達也（昭和大学医学部産婦人科学講座）

**●常位胎盤早期剥離による出生児脳性麻痺発症のリスク因子の検討**
演者：市塚清健（昭和大学横浜市北部病院産婦人科）

●常位胎盤早期剥離の児の修正18カ月予後に関する多施設調査
演者：服部哲夫（安城更生病院新生児科）
●常位胎盤早期剥離で娩出した早産児の予後因子の検討
演者：太田幹人（聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター）

■シンポジウム午後の部「常位胎盤早期剥離の搬送，システム」（座長：大槻克文，田中　基）
●［委員会報告］常位胎盤早期剥離の搬送体制に関する全国調査
演者：石井桂介（大阪母子医療センター産科）
●母体安全の視点から常位胎盤早期剥離の搬送のタイミングを考える
演者：大西庸子（北里大学病院周産母子成育医療センター）
●時間軸に着目した常位胎盤早期剥離の予後決定因子―迅速な搬送を目指した大阪府での多施設共同研究―
演者：金川武司（大阪母子医療センター産科）
●常位胎盤早期剥離における搬送経路と麻酔法が母児の転帰と関連するか？
演者：成瀬　智（埼玉医科大学総合医療センター産科麻酔科）
●三重県における常位胎盤早期剥離のコホート研究―児の予後改善を指標とした胎動チェックカードの介入効果について―
演者：神元有紀（三重大学医学部産婦人科）
●［関連演題］常位胎盤早期剥離の搬送体制改善に向けた院内改革と県下の現状
～搬送システム“OKAYAMA Perinatal Integrated Conveying Sheet System Okayama Picss®”の構築～
演者：牧　尉太（岡山大学病院産科・婦人科学教室）

## 【第37回】胎児診断から始める治療戦略

会長：臼井規朗
会期：平成31（2019）年2月8日（金），2月9日（土）
会場：大阪国際会議場（大阪）

■プレコングレス
●［教育講演］胎児MRI診断の現状：何がどこまでわかるのか？
座長：西川正則（大阪母子医療センター放射線科）
演者：宮嵜　治（国立成育医療研究センター放射線診療部）
●［委員会報告］胎児疾患に関する全国調査報告-新生児領域
座長：和田和子（大阪母子医療センター新生児科）
演者：渡部晋一（倉敷中央病院総合周産期母子医療センター）
演者：米田徳子（富山大学産科婦人科）
●［招待講演］Development of the Artifical Womb: Challenges and Milestones.
座長：臼井規朗（大阪母子医療センター小児外科）
演者：Emily Partridge（Division of General, Thoracic and Fetal Surgery, Children's Hospital of Philadelphia）

■シンポジウム午前の部：診断～予後予測からトリアージへ～（座長：板倉敦夫，渡部晋一）
●先天性消化管閉鎖症における出生前診断の意義の検討
演者：田中　亮（名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター新生児部門）
●胎児超音波検査による先天性横隔膜ヘルニアの包括的リスク評価
演者：照井慶太（千葉大学医学部附属病院小児外科）
●胎児診断からみた嚢胞性肺疾患の治療と周産期予後
演者：杉林里佳（国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター胎児診療科）
●胎児診断に基づいた先天性心疾患胎児の分娩施設の選択
演者：漢　伸彦（福岡市立こども病院周産期センター新生児科）
●左心低形成症候群の予後からみた胎児期からの治療戦略
演者：北代祐三（福岡市立こども病院産科）

■シンポジウム午後の部：治療～難治性疾患へのアプローチ～（座長：早川昌弘，石井桂介）
●ヒト羊水幹細胞を用いた周産期神経疾患の新規治療戦略／脊髄髄膜瘤モデルによる検討
演者：落合大吾（慶應義塾大学医学部産婦人科）
●iPS細胞由来培養皮膚を用いた脊髄髄膜瘤の新規治療戦略
演者：梶原一紘（東京慈恵会医科大学産婦人科）
●症候性先天性サイトメガロウイルス感染症に対する胎児治療と新生児治療
演者：谷村憲司（神戸大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター産科部門）
●低ホスファターゼ症周産期型における周産期管理と治療への道筋
演者：永岡晋一（宮城県立こども病院産科）
●胎児診断に基づいてEXITを施行した9例の適応と治療成績，長期予後に関する検討
演者：正畠和典（大阪母子医療センター小児外科）

## 【第 38 回】母児の予後改善を目指した合併症妊娠の管理

会長：村越　毅
会期：令和 2（2020）年 1 月 31 日（金），2 月 1 日（土）
会場：アクトシティ浜松（静岡）

**■プレコングレス：合併症妊娠に対する最新の知見と治療戦略（座長：伊東宏晃）**

**●［教育講演 1］膠原病合併妊娠**
演者：村島温子（国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター／妊娠と薬情報センター）

**●［教育講演 2］ハイリスク心疾患合併妊娠の診療**
演者：神谷千津子（国立循環器病研究センター産婦人科部）

**●［教育講演 3］てんかん合併妊娠 ～分娩状況により誘発される特発性全般てんかんを中心に～**
演者：藤本礼尚（聖隷浜松病院てんかんセンター／てんかん科）

**●［教育講演 4］膠原病母体児の高サイトカイン血症と長期予後**
演者：高橋尚人（東京大学医学部附属病院小児・新生児集中治療部）

**■シンポジウム午前の部：内科的合併症（古典的な合併症）（座長：菅　幸恵，内山　温）**

**●［委員会報告］合併症妊娠に関する全国アンケート調査報告**
演者：宮越　敬（日本周産期・新生児医学会 周産期学シンポジウム運営委員会／慶應義塾大学医学部産婦人科学教室）
飛彈麻里子（日本周産期・新生児医学会 周産期学シンポジウム運営委員会／慶應義塾大学医学部小児科学教室）

**●母体肥満と Parturition dysfunction ―母児の分娩予後改善を目指した母体体重管理―**
演者：田中　啓（杏林大学産科婦人科）

**●当院で出生した糖尿病母体児の臨床的特徴**
演者：今井　憲（東京女子医科大学母子総合医療センター新生児医学科）

**●バセドウ病合併妊娠における児の甲状腺機能異常の予測因子の探索**
演者：城　道久（大阪母子医療センター産科）

**●母児の予後からみた自己免疫疾患罹患女性への妊娠支援 ～全国実態調査と富山大学における試み～**
演者：津田さやか（富山大学附属病院産科婦人科）

**■シンポジウム午後の部：外科的合併症，精神神経合併症（これから取り組んでいく合併症，カウンセリング）（座長：大槻克文，木下義晶）**

**●てんかん女性への妊娠に関する情報提供における課題**
演者：江川真希子（東京医科歯科大学小児・周産期地域医療学講座／血管代謝探索講座）

**●精神疾患合併妊娠の現状の問題点と次世代へ与える影響の可能性**
演者：森山佳則（名古屋大学医学部附属病院産科婦人科）

**●小児期発症疾患合併妊娠における母児の転帰**
演者：川口晴菜（大阪母子医療センター産科）

**●子宮腺筋症合併妊娠における周産期予後改善を目指して ～山梨県における過去 10 年のデータを用いた多施設共同研究～**
演者：篠原諭史（山梨大学医学部産婦人科）

**●当院における広汎性子宮頸部摘出術後妊娠に対する取り組み**
演者：春日義史（慶應義塾大学医学部産婦人科学教室）

## 【第 39 回】周産期における社会的支援を考える

会長：長　和俊
会期：令和 3（2021）年 1 月 23 日（土）
会場：Web 開催

**■プレコングレス**

**●JRC ガイドラインに基づいた新生児蘇生法 2020**
座長：茨　聡（鹿児島市立病院新生児内科）
演者：細野茂春（自治医科大学附属さいたま医療センター周産期科新生児部門）

**●地域において特定妊婦とその子育てを支える医療機関の役割**
座長：古瀬優太（北海道大学病院周産母子センター）
演者：石倉亜矢子（函館中央病院小児科）

**●貧困問題からみた子ども虐待**
座長：和田和子（大阪母子医療センター新生児科）
演者：松本伊智朗（北海道大学教育学研究院）

**■シンポジウム午前の部：精神疾患・メンタルヘルス（座長：宮越　敬，小久保雅代）**

**●産後うつ病のハイリスク妊婦に関連する周産期因子，社会的因子の検討**
演者：笠井真祐子（山梨県立中央病院総合周産期母子医療センター産科）

**●東京都城南地区における周産期メンタルヘルスケアの取り組み**
演者：白土なほ子（昭和大学医学部産婦人科学講座）

●多職種連携を要する社会的ハイリスク妊産婦の検討 ～精神疾患合併妊娠における支援の実情と課題～
演者：小林知子（名古屋大学産婦人科）
●精神疾患関連妊婦における産後のうつ傾向および授乳が母児に与える影響に関する研究
演者：松浦　玲（昭和大学横浜市北部病院産婦人科）

■シンポジウム午後の部：ハイリスク妊婦・新生児（座長：村越　毅，森岡一朗）
●［依頼演題］すべての妊産婦を支えたい。母子保健における妊産婦支援
～気がかりのある妊婦の把握から支援，医療・福祉との連携について～
演者：鍛治みか（和泉市子育て健康部健康づくり推進室）
●神戸市母子保健情報を活用した3歳児の発育予後に関連する周産期因子の検討
演者：京野由紀（神戸大学小児科）
●NICU入院児の児童虐待のリスク要因 ～テキストマイニングによる面接内容の分析～
演者：亀山千里（総合病院土浦協同病院看護部）
●宮城県における未受診妊婦に関する検討 ～児童虐待予防の新たな対策～
演者：星合哲郎（東北大学病院産婦人科）
●特定妊婦および要支援児童への多職種チームでの介入に関する後方視的研究
演者：遠藤真美子（千葉大学小児科）

## 【第40回】周産期医療における生育と成育の限界について考える

会長：板倉敦夫
会期：令和4（2022）年1月15日（土）
会場：パシフィコ横浜ノース（神奈川）

■プレコングレス
●早産児医療の国際比較
座長：長　和俊（北海道大学病院周産母子センター）
演者：楠田　聡（新生児臨床研究ネットワーク）
●成育限界の生命倫理
座長：早川昌弘（名古屋大学医学部附属病院周産母子センター）
演者：加部一彦（埼玉医科大学総合医療センター新生児科）
●［委員会報告］生育・成育限界（特に在胎22，23週）の胎児・新生児管理に関する全国アンケート調査《産科領域》
座長：大槻克文（昭和大学江東豊洲病院産婦人科）
演者：宮越　敬（日本周産期・新生児医学会 周産期学シンポジウム運営委員会/社会福祉法人聖母会聖母病院）
●［委員会報告］生育・成育限界（特に在胎22，23週）の胎児・新生児管理に関する全国アンケート調査《新生児領域》
座長：大槻克文（昭和大学江東豊洲病院産婦人科）
演者：諫山哲哉（日本周産期・新生児医学会 周産期学シンポジウム運営委員会/国立成育医療研究センター周産期母性診療センター新生児科）

■シンポジウム午前の部：在胎週数から見たハイリスク児（座長：石井桂介，難波文彦）
●わが国における在胎22-28週の早産児の成績（2003-2015）―新生児臨床研究ネットワークデータベース登録例の解析より―
演者：平野慎也（大阪母子医療センター新生児科/新生児臨床研究ネットワーク）
●積極的治療を行った在胎22週，23週児の予後の検討
演者：長坂美和子（高槻病院新生児科）
●在胎22，23週早産児の予後に関する検討
演者：上田和利（倉敷中央病院小児科）
●当院とNRNの在胎22週・23週の予後に対する検討
演者：柳沢俊光（長野県立こども病院新生児科）

■シンポジウム午後の部：病態から見たハイリスク児（座長：宮下　進，飛彈麻里子）
●Severe small for gestational age児の生育・成育限界
演者：木本裕香（大阪母子医療センター新生児科）
●妊娠22週未満の前期破水症例の児の予後と予後に関連する産科因子の検討
演者：林　周作（大阪母子医療センター産科）
●胎児水腫症例の短期生存・長期神経学的予後に関連する周産期因子の検討
演者：和形麻衣子（大阪母子医療センター産科）
●当院における特発性胎児水腫の生育限界・成育限界の検討
演者：柴田優花（国立成育医療研究センター新生児科）
●重症度別に見た先天性心疾患・早産児の生存限界についての検討
演者：北代祐三（福岡市立こども病院産科・胎児循環器科）

## 【第 41 回】周産期感染症への対応を再考する―これからの課題と対策―

会長：早川昌弘
会期：令和 5（2023）年 1 月 14 日（土）
会場：名古屋国際会議場（愛知）

**■プレコングレス**

**●周産期医療における患者安全**
座長：小谷友美（名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター生殖・周産期部門）
演者：深見達弥（島根大学医学部附属病院医療安全管理部）

**●周産期感染症対策：先天性CMV感染症を中心に**
座長：大城　誠（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院小児科第一小児科）
演者：伊藤嘉規（日本大学医学部小児科学系小児科学分野）

**●［特別企画］専門医認定委員会・専門医試験委員会共同企画「症例要約作成講座 ～新しい評価法に基づく作成上の注意点～」**
座長：北東　功（専門医試験委員会Ｂ領域委員長）
演者
「2021年症例要約概観」：河井昌彦（前専門医試験委員会Ｂ領域委員長）
「低評価の症例要約」：谷垣伸治（専門医試験委員会Ａ領域委員長）
「新評価基準とそれに基づく症例要約作成」：
和田誠司（Ａ領域担当／専門医認定委員会委員長）
新井浩和（Ｂ領域担当／専門医認定委員会委員長）

**■シンポジウム午前の部：新生児領域における感染症の課題と対策**（座長：諫山哲哉，中畑克俊）

**●周産期学シンポジウム運営委員会 全国調査報告「周産期感染症」（新生児領域）**
演者：飛彈麻里子（日本周産期・新生児医学会 周産期学シンポジウム運営委員会／慶應義塾大学医学部小児科学教室）

**●早産の母児間における薬剤耐性グラム陰性菌の垂直伝播に関する調査**
演者：小泉亜矢（群馬県立小児医療センター新生児科）

**●早産，極低出生体重児における早発型感染症 周産期因子，特に出生時の胃液グラム染色からの予測**
演者：福田沙矢香（大阪母子医療センター新生児科）

**●新生児集中治療室での早産児における遅発型感染症 監視培養の有用性についての検討**
演者：堀田将志（大阪母子医療センター新生児科）

**■シンポジウム午後の部：産科領域における感染症の課題と対策**（座長：宮越　敬，森岡一朗）

**●周産期学シンポジウム運営委員会 全国調査報告「周産期感染症」（母体・胎児領域）**
演者：宮下　進（日本周産期・新生児医学会 周産期学シンポジウム運営委員会／宮城県立こども病院産科）

**●出生コホートによる風疹ウイルス抗体価の違い 先天性風疹症候群を予防するために**
演者：楠元和美（宮崎大学医学部産婦人科）

**●三重県での妊婦サイトメガロウイルス（CMV）抗体スクリーニングと先天性CMV感染児の検索**
演者：鳥谷部邦明（三重大学医学部産科婦人科学教室）

**●日本におけるCOVID-19妊婦の現状 ～妊婦レジストリの解析結果**
演者：出口雅士（神戸大学大学院医学研究科地域社会医学・健康科学講座地域医療ネットワーク学分野）

**●妊婦および新生児臍帯静脈血における百日咳菌抗体保有率の評価 ～妊娠前・妊娠中のDTaPワクチン導入にむけて～**
演者：羅　こい（東京医科歯科大学病院産婦人科）

## 【第 42 回】周産期の栄養と代謝を考える

会長：増本幸二
会期：令和 6（2024）年 1 月 26 日（土），27 日（日）
会場：つくば国際会議場（茨城）

**■プレコングレス**

**●わが国における妊婦の栄養管理の歴史：2021年新たな妊婦の体重増加指導の目安策定までの変遷**
座長：佐藤豊実（筑波大学医学医療系産婦人科学）
演者：伊東宏晃（浜松医科大学産婦人科）

**●The first 1000 daysにおける早産低出生体重児の栄養管理と今後の展望**
座長：宮園弥生（筑波大学医学医療系小児科学）
演者：板橋家頭夫（社会福祉法人愛正会愛正会記念茨城福祉医療センター）

**●短腸症候群の栄養管理update**
座長：奥山宏臣（大阪大学大学院医学系研究科外科学講座小児成育外科学）
演者：加治　建（久留米大学医学部外科学講座小児外科部門）

■シンポジウム午前の部：新生児の栄養と代謝を考える（座長：東海林宏道，上原秀一郎）

●周産期学シンポジウム運営委員会 全国調査報告「周産期の栄養と代謝を考える」（新生児領域）

演者：鷲尾洋介（日本周産期・新生児医学会 周産期学シンポジウム運営委員会／岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児急性疾患学講座）

●母体の栄養状態が胎児の血中酸化状態へ与える影響

演者：長野伸彦（日本大学医学部小児科学系小児科学分野）

●超低出生体重児の修正満期における血中脂肪酸分析 正期産児の臍帯血との比較

演者：金井　雄（筑波大学小児科）

●早産児における多価不飽和脂肪酸栄養とその代謝産物の関係

演者：菅沼広樹（順天堂大学小児科）

●プロバイオティクスが極低出生体重児の腸内環境に与える影響

演者：小林　玲（新潟大学医歯学総合病院総合周産期母子医療センター）

●超早産児における修正40週までの成長指標，成長度と3歳時神経発達予後の関連性の検討

演者：前田剛志（名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター新生児部門）

■シンポジウム午後の部：妊娠中の栄養と代謝を考える（座長：市塚清健，難波文彦）

●周産期学シンポジウム運営委員会 全国調査報告「周産期の栄養と代謝を考える」（母体・胎児領域）

演者：金川武司（日本周産期・新生児医学会 周産期学シンポジウム運営委員会／国立循環器病研究センター産婦人科）

●［基調講演］妊娠中の栄養の課題 ～「妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針」の活用に向けて

演者：瀧本秀美（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 理事・国立健康・栄養研究所長）

●子どものメンタルヘルス改善を目指した妊娠中至適体重増加量の提案

演者：寺田周平（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科公衆衛生学分野／聖隷浜松病院産婦人科）

●妊娠初期の血糖変動と妊娠高血圧症候群：周産期領域における血糖変動の臨床的意義とバイオマーカー

演者：田野　翔（名古屋大学大学院医学系研究科産婦人科学）

●Fetal Origins of Obesity：超音波を用いた胎児脂肪量の評価とその規定因子の解明

演者：池ノ上　学（慶應義塾大学医学部産婦人科）

●糖代謝異常合併妊婦の個別化栄養療法に向けた個人代謝量の推移調査

演者：衛藤英理子（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科産科・婦人科学教室）

## 【第43回】周産期における鎮静・鎮痛・ストレス緩和を再考する

会長：大槻克文

会期：令和7（2025）年1月17日（金），18日（土）

会場：都市センターホテル（東京）

■プレコングレス

●多職種連携による新生児の痛みの予防と管理

座長：水野克巳（昭和大学医学部小児科）

演者：小澤未緒（広島大学大学院医系科学研究科）

●新生児に対する外科的手術での鎮静・鎮痛・ストレス緩和 ―ガイドラインより―

座長：渡井　有（昭和大学病院 小児外科）

演者：遠山悟史［東京科学大学大学院 心肺統御麻酔学分野（周産期・小児麻酔学担当）］

●産科領域における鎮静・鎮痛・ストレス緩和―最新の知見をふまえて

座長：加藤里絵（昭和大学医学部 麻酔科学講座）

演者：照井克生（埼玉医科大学総合医療センター 産科麻酔科）

■日本産科婦人科学会 災害対策・復興委員会セミナー「災害対策の礎 PEACE を知る」（座長：谷垣伸治）

●大規模災害対策情報システムPEACEのリニューアル

演者：津田尚武（久留米大学医学部産婦人科学講座／日本産科婦人科学会災害対策・復興委員会）

●大規模災害対策情報システムPEACEの刷新と操作体験

演者：植田彰彦（京都大学大学院医学研究科／日本産科婦人科学会災害対策・復興委員会）

■シンポジウム午前の部：周産期の鎮静・鎮痛・疼痛緩和 最新動向（座長：宮下　進，鷲尾洋介）

●［委員会報告］周産期学シンポジウム運営委員会 全国調査報告（新生児領域）

演者：東海林宏道（日本周産期・新生児医学会 周産期学シンポジウム運営委員会／順天堂大学医学部小児科学講座）

●帝王切開術に対する脊麻開始時の局所麻酔薬浸潤痛と心拍変動から導かれた疼痛指標としてのANIとの関連性

演者：近藤弘晃（北里大学病院周産母子成育医療センター）

●乳児期早期の頭部MRIにおける真空固定具の使用が引き起こす体温上昇の要因に関する検討

演者：青木亮二（日本大学医学部小児科学系小児科学分野）

●中期中絶・死産に対する経静脈鎮痛における至適薬剤の検討

演者：染谷真行（札幌医科大学附属病院 産科周産期科）

●早産児の急性期の鎮静薬としてのデクスメデトミジンとフェンタニルの急性期・長期予後の比較
演者：中内千春子（藤田医科大学医学部 小児科学）

■シンポジウム午後の部：周産期の鎮静・鎮痛・ストレス緩和 無痛分娩の実践と課題（座長：金川武司，中畑克俊）

●［委員会報告］周産期学シンポジウム運営委員会 全国調査報告（産婦人科領域）
演者：市塚清健（日本周産期・新生児医学会 周産期学シンポジウム運営委員会／昭和医科大学横浜市北部病院産婦人科）

●若手医師が硬膜外麻酔の技術を習得する教育体制構築のための必要経験数と適切な症例選択の検討
演者：稲村達生（トヨタ記念病院 周産期母子医療センター 産科）

●非侵襲的心拍出量モニタリングを用いた無痛分娩を行う心疾患妊婦の循環動態評価
演者：澤田雅美（国立循環器病研究センター 産婦人科部）

●双胎経腟分娩における無痛分娩の分娩転帰に対する影響
演者：山本瑠美子（大阪母子医療センター 産科）

●無痛分娩中の母体発熱が新生児予後に与える影響
演者：山崎　優（北里大学医学部産婦人科）

## 【第 44 回】未来へつなげる周産期学 ―子宮内環境と児の Well-being を考える―

会長：内山　温
会期：令和 8（2026）年 1 月 16 日（金），17 日（土）
会場：パシフィコ横浜アネックスホール（神奈川）

■プレコングレス

●High Performance NCPR を実践するために NCPR アルゴリズム 2025 を理解する
座長：石本人士（東海大学医学部専門診療学系 産婦人科学）
演者：細野茂春（公益社団法人地域医療振興協会 練馬光が丘病院小児科／自治医科大学）

●［特別企画講演］周産期学シンポジウムの歴史
座長：座長：金川武司（国立循環器病研究センター産婦人科，周産期学シンポジウム運営委員会委員長）
演者：大槻克文（昭和医科大学江東豊洲病院産婦人科）

●［基調講演］AI 時代における乳幼児期の安全基地の意味
座長：内山　温（東海大学医学部総合診療学系 小児科学）
演者：茂木健一郎（東京大学大学院総合文化研究科）

■周産期学シンポジウム午前の部：未来へつなげる周産期学 ―子宮内環境と児の予後―（座長：市塚清健，平田克弥）

●胎児脳障害予測指標としての分娩時 fetal heart rate variability の利用可能性
演者：真川祥一（三重大学医学部附属病院 産婦人科／臨床研究開発センター）

●FGR 児における出生時血圧の予測因子の探索
演者：栗原　康（大阪公立大学大学院医学研究科女性生涯医学）

●児の予後を考えた際に妊娠糖尿病における持続血糖測定は新たな管理法となりうるか
演者：春日義史（慶應義塾大学医学部産婦人科学教室）

●尿中タイチンは新生児の子宮内環境及び周産期ストレスを評価可能か？
演者：不破一将（日本大学小児科学系小児科学分野）

●インプリンティング疾患発症に対して生殖補助医療が与える影響の解明
演者：原　香織（慶應義塾大学医学部小児科／国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部）

■シンポジウム午後の部：未来へつなげる周産期学 ―子宮内環境と母児の予後―（座長：小松玲奈，長野伸彦）

●［関連演題］出生児を意識した妊娠中の微生物叢の把握と課題
演者：谷垣伸治（杏林大学産科婦人科）

●胎盤機能不全による胎児腸管・免疫系プログラミングの分子学的機序に基づく腸管機能障害の予防戦略
演者：市瀬茉里（東京大学 女性診療科・産科）

●子宮形態異常と周産期リスク：臍帯付着部位置異常の関与
演者：吉原達哉（山梨大学医学部附属病院 産婦人科）

●妊娠 34 週未満の胎児発育不全の周産期管理における sFlt-1／PlGF 比の有用性に関する検討
演者：篠原諭史（山梨県立中央病院 総合周産期母子医療センター 産科）

●臍帯動脈血流異常を伴う selective FGR の予後不良関連因子を探る ～胎児治療適応拡大を見据えて～
演者：山本　亮（大阪母子医療センター産科）